

特26

189

東

東

東

東

東

東

東

新編
 新編
 野野
 齋

緒言

一本書ハ本縣ニ於テ執行セラルル小學校教員乙種檢定試験問題及尋常師範學校同講習科尋常中學校同中津分校大分縣農學校ノ入學試験問題ヲ蒐集シ其試験ニ關スル注意規則ヲ付記セシモノナリ

一本書編纂ノ主旨ハ本縣下各地方ノ青年者ニシテ試験應募ノ際往々試験問題ノ程度ニ感シ或ハ書中ノ照會ヲ煩シ或ハ予等ノ僑寓ヲ訪問セラルルノ人多キニ居ル是畢竟地方ニ在リテ其ノ程度標準ヲ知ルノ便法ヲ得サルニ坐スルノ事是ヲ以テ此等諸子ノ參考ヲ供スルニ此書ヲ編スルノ已ム能ハサルニ至ル若シ此書受驗諸子ニ幾分ノ便益ヲ與ヘ舉業場裏ニ臨ムノ筈トナリ蹄トナルコトヲ得ハ編者ノ幸甚トス

一本書中ノ檢定試験問題ハ明治廿五年檢定規則實施后ニ
 係リ尋常師範學校入學試験問題ハ募集規則改正實施后
 又ニシテ尋常中學校入學試験問題ハ廿五年以降ニ
 學文師範學校講習科中津中學校分校及農學校ノ各入學
 試験問題ハ昨廿六年設立ノ際ニ發行セシモノナリ

明治廿七年六月

編者識ス

本書ハ尋常師範學校入學試験問題ハ明治廿五年檢定規則實施后ニ
 係リ尋常中學校入學試験問題ハ廿五年以降ニ
 學文師範學校講習科中津中學校分校及農學校ノ各入學
 試験問題ハ昨廿六年設立ノ際ニ發行セシモノナリ

試験問題彙纂目次

- 明治二十五年尋常小學校本科正教員檢定試験問題……………一
- 明治二十五年小學校專科正教員檢定試験問題……………八
- 明治二十五年高等小學校本科准教員檢定試験問題……………一〇
- 明治二十五年高等小學校專科准教員檢定試験問題……………一九
- 明治二十五年尋常小學校本科准教員檢定試験問題……………二二
- 明治二十六年尋常小學校本科正教員檢定試験問題……………二八
- 明治二十六年小學校專科正教員檢定試験問題……………三六
- 明治二十六年高等小學校本科准教員檢定試験問題……………四〇
- 明治二十六年高等小學校專科准教員檢定試験問題……………四八
- 明治二十六年尋常小學校本科准教員檢定試験問題……………五一
- 明治二十六年大分縣尋常師範學校入學試験問題……………五六
- 明治二十六年大分縣尋常師範學校講習科入學試験問題……………六一
- 明治二十七年大分縣尋常師範學校入學試験問題……………六五
- 明治二十五年大分縣尋常中學校入學試験問題……………七〇
- 明治二十六年大分縣尋常中學校入學試験問題……………七四

- 六、非離スヘキ疑問七種ノ例ヲ舉ゲテ各其ノ理由ヲ記セ
- 七、讀書科ト作文科トノ關係ヲ詳論シ兩科教授上相互ニ注意スヘキ要項ヲ述ベヨ
- 八、實物乘除教授法ノ要領ヲ問フ
- 九、學校衛生ハ主トシテ如何ナルヲ注意スルベキガ
- 十、管理者ニ須要ナル品性ヲ述ベヨ
- 十一、學校ニ於テ適用スヘキ罰ノ種類及其ノ適用上ノ注意ヲ述ベヨ

國語科(讀講)

一、台徳公身ヲ持スルコト最謹ム太公嘗テ其ノ謹厚ヲ歎シテ曰ク其雲梯ヲ觀スト雖及テ可ラスト太公又嘗テ本多正信ヲ召シテ之ニ囑シテ曰ク今將軍ノ謹厚海ニ美スヘシ然レトモ事モ亦謹厚ニ過クヘカラサルモノアリ思ハサルヘカラスト正信曰ク唯々他日公ニ講シ因リテ席ヲ前ニテ曰ク願下ノ謹厚蓋シ請フ少シク其ノ言ヲ虛誕ニセヨ是太公ノ謔ナリト公笑テ曰ク太公ノ虛ヲ説ク人其ノ虚ヲ買フ者アリ他ナシ其ノ實アルヲ以テナリ我ノ倥侗物ナキ擬ヒ其ノ虚ヲ説クトモ人誰カ爾ヲ買フ之ヲ買ハシ

史論ニ曰ク台徳公ノ言天籟ト謂フ可シ是ニ於テ人籟ヲ免ノス嗚呼今日ノ太平果何レテ誰カ之ヲ聞キテ誰カ之ヲ成ス

三、宋ノ飽實格タル日自ス以テ之ヲ執政ノ地ニ生糶糶舒ハ儂ル所ナリ奇ニ蚤尙就慎以心ヲ悉シ慮ヲ精クスルコト能ハシレバ事ヲ敗リ舖ヲ獲シ憂患畢ク至ル加之道ニ在直アリ時ニ險夷アリ其ノ位ニ居ルモノ古今難ハシク之所ナリ嘗テ同職ニ請ヒテ曰ク人能カ鼻ニ豆斗ノ醜醜ヲ吸ハ、即幸稱ト爲ル

右三篇ノ全交ヲ詳解スヘシ

國語科(作文)

- 一、教育家某氏ノ傳ヲ讀ム (漢字交リ文)
 - 二、謔詞ヲ用ヒサル兒童ノ父兄ニ與フル文 (書讀文)
- 三、左ノ漢字ノ訓ヲ假字ニテ記セ
- 祖父 手水 老人 末 河 磯
- 二、左ノ天爾遠波ハ如何ナル所ニ用フヘキガ示シ且其ノ例ヲ舉ゲヨ
- 三、左ノ文章中ニ誤謬アレハ訂正シ且其ノ訂正スル所以ヲ示セ
- 我昨年由布山へ登りける
- 人は此の度の試験に落第するとも表は落第せ

兒童よ汝遊戯の隙隙見請れなく汝を購ひて其人時汝は如何にするや
我れ先年印度に行き獅子と虎に出合ひし時ほど怖しき事はなかりしと我が友人
は語りぬる

四、左ノ文章ヲ解剖スヘシ

爲兼大納言入道ゆしとられて武士どもうな固みて大波瀾へ海でゆきければ買朝
卿一條わたりにてみれを見給ひてあなういふまじし世にあらんをもひではかくこ
ろあらしまほしけれとすいはれける

五、左ノ賦ノ優劣ヲ附記ス

久方の菊のどけき春の日にしづ心なく花のちるちる
秋風たなびく雲のたへまよりもれ出づる月の影のさやけさ
時鳥を死ゆる方をなむれきたる有明の月のみれる
月みれちるに物さう思しけれ我身一つの秋にはあらねど

算術科(珠算)

- 一、畑地千八百五十三町八反五畝十四歩ヲ代價ニ二十一萬四千二百二十圓二十一圓四厘
ニテ買得たりト云フ今同ノ割合ニテ五反八町五反三畝七歩有畑地賣買ハ
トスルニハ其人代價幾何ヲ拂フテ可大ナル代價ニテ買得ル事ニテ
三、壁六尺幅四尺五寸ヲ入付ニテ一畝ノ壁ニテ五尺幅五尺ノ壁ニテ賣買

二丈二尺幅一丈高一丈四尺五寸ノ室アリ今幅三尺長五尺毎ニ一圓二十錢ノ壁紙

三、赤以テ其ノ四壁ヲ敷ハシ其ノ後ニ問ノ其ノ張紙利ノ其ノ壁ノ面積及其人費用若干

三、穀商存貯一石ニ就キ八圓公米出十五石六圓ノ穀三石五圓五十錢ノ大豆四十石
ヲ賣買ニ議シ米ニテハ一割ヲ利シ麥ニテハ一割ヲ損シテ全價ニ於テハ一割二分
ヲ利セトス然ラハ大豆一石ノ價ヲ幾何ニ定ムル事カ

算術科(筆算)

一、漁船アリ海岸ヲ距ルル四十里ノ処ニ來リタルトキ海水浸水ヲ始メタリ其ノ浸
水ノ量ハ十二分時間ニ三噸四分ノ三ニシテ又浸水六千噸ニ至レハ此ノ船沈没ス
ヘント云フ依テ船中啣筒ヲ一時間十二噸宛ノ水ヲ排除セシニヨリ此ノ船方ニ船
岸ニ上ル時ニ幾リ始メテ沈没シタリト云フ問フ此ノ船一時間ノ速度如何

但本題ハ算式ノ説明ヲ要ス

二、甲乙丙ノ三工夫一事業ヲ爲スニ甲一人ハ十二時間ヲ要シ甲丙ナレハ五時間
ヲ要ス又丙ノ働ハ乙ノ働ノ三分ノ二ナリト云フ今此ノ事業ヲナスニ甲ハ午前五
時ニ就業シ其ノ後乙丙二工夫ハ同時ニ此ノ業ニ加リ甲ニ協力シテ同日ノ正午十
二時ニ此ノ業ヲ竣功セリ然レハ乙丙二工夫ノ加ハリシハ午前何時ナリシカ

- 但秒以下ノ端數ハ分數ニスヘシ
- 三、酒水ヲ混合センニ樽アリ酒ト水トノ比ハ甲樽ニアリテハ $\frac{2}{3}$ 乙樽ニアリテハ $\frac{1}{3}$ ナリ今甲樽ヨリ八斗四升ヲ出シ乙樽ヨリ若干升ヲ出シ酒ト水ト等分ノモノヲ得ントス乙樽ヨリ出スヘキ升數如何
 - 四、或銀行ノ株主某六分ノ利益配當金ヲ受取り直ニ其ノ金ヲ以テ同銀行ノ株券ヲ二割ノ増價ニテ買ヒンニ現在ノ株券一万四千七百圓トナレリト云フ因テ問フ此ノ人初受取リシ所ノ利益配當金如何
 - 五、乘算ニ於テハ乘數ハ常ニ不名數ニ限レトモ除算ニ於テハ不名數ナルコトアリ又名數ナルコトアリト例ヲ舉ケテ之ヲ詳述セヨ
 - 六、 5 ヨリ大ナル原因數(素數トモ云フ)ヲ六ニテ除スレハ 1 或ハ 5 ノ殘ル理如何
 - 七、列數字カ連續數ニシテ首位大ナル三位ノ數アリ其ノ數ヲ一千五百五十四ヨリ減スルトキハ恰モ其ノ列數字ヲ轉倒シテ 4510 ヲ得ト云フ因テ問フ其ノ數如何
- 地理科**
- 一、山陰道及山陽道ノ地勢及之ヲ圍繞スル海灣岬角ノ名稱及位置ヲ記セ
 - 二、我國ヨリ外國ヘ輸出スル物産ノ名ヲ舉ケ併セテ其ノ產地ヲ列記スヘシ
 - 三、我が國ニ現在布設スル鐵道線路ノ位置ヲ説キ併セテ其ノ線路ニ沿ヘル都府及著名ナル都邑ノ名稱ヲ記セ

- 四、左ニ記載スル都府、山川、及島ノ位置及其ノ所屬國名ヲ列記セヨ

メツカ府	コロンボ府	モスコイ府	リレバール府	シドニー府
シカゴ府	ライン河	オレンヂ河	セント、ローレンス河	エトナ山
アンデス山	ロツキー山	ウラル山	天山	コーカサス山
リール島	キニーパー島	フィリッピン島	ハワイ島	ニュー、カレドニア島
 - 五、我が國ヨリ英京ロンドン府ニ至ル航路ニ就テ畧述シ併セテ航行中寄港スヘキ港灣ノ名稱及其ノ所屬國名ヲ舉ケヨ
- 歴史科**
- 一、中古以上ノ時代ヲ於ケル我が國ト支那トノ關係ニ就キ重ナル事歴ヲ畧述セヨ
 - 二、文學ノ盛ナリシ時代ハ何レノ頃ナルカ又其ノ時代ニ於ケル有名ナル文學家ヲ時代別ニ列舉シ各人ノ著名ナル事蹟ヲ附記セヨ
 - 三、足利氏ノ末世ヨリ織田氏ノ頃マテニ於ケル宗教上ノ有様ハ如何
 - 四、徳川氏カ天下諸侯ヲ制御シ克ク三百年ノ泰平ヲ維持セシハ如何ナル所以ナルカ
 - 五、外艦突入ノ時ヨリ明治革新マテノ間ニ於ケル事歴ノ大要ヲ述ヘヨ
- 習字科**
- 海蚌未剖明珠不顯豈竹未斷則鳳音不彰

右指書

講談會御催ニ付御通報下され候處生憎差支之あり遺憾ながら欠席致候
右行草書

体操科(技術)

- 一、第二徒手演習最初ヨリ第十五節迄
- 二、第二亞鈴演習第五節ヨリ第十五節迄
- 三、球字演習第二十五節ヨリ終迄
- 四、柔軟体操一章中各教ノ初ヨリ二運動宛
- 五、實地號令指揮

体操科(問題)

- 一、普通体操ニ於テ分列ヲ作ル順序方法ヲ詳記セヨ
- 二、一廻ノ右前へ進メシツテ號令ニテ如何スルカ
- 三、斜行進ノ號令下方法トヲ説明セヨ
- 四、立腕ヨリ握ヘテノ動作如何
- 五、横隊ニ在リテ停止スル隊ノ方向變換ヲ説明セヨ

明治二十五年小學校專科正教員檢定試験問題 候選

農業科

- 一、肥料ノ種類及性質ヲ詳記セヨ
- 二、農業學ノ關係アル諸學科ヲ列記シ其ノ關係アル諸点ヲ描記セヨ
- 三、土壤ノ理學的性狀ヲ記セヨ
- 四、肥料ノ施用法ヲ詳記セヨ
- 五、石灰質肥料ノ米穀用ハ曠天識記セヨ
- 六、磷質肥料ノ米穀用ハ曠天識記セヨ
- 七、米穀ノ收穫量増進法ハ一歩炭酸加里磷酸曹達炭酸アムモニアヲ以テ
- 八、水田ノ灌漑水ヲ就キテ各自ノ意見ヲ述ベヨ
- 九、肥料ノ微粒子ハ如何ニシテ其ノ存在ヲ認ムルカ
- 一〇、肥料ノ毛管力ハ如何ニシテ其ノ存在ヲ認ムルカ
- 一一、肥料ノ毛管力ハ如何ニシテ其ノ存在ヲ認ムルカ
- 一二、肥料ノ毛管力ハ如何ニシテ其ノ存在ヲ認ムルカ
- 一三、乾燥ナル肥沃ノ畑地一反歩アリ之ニ一年間植付クル作物ヲ記シ其收出ヲ算出

九〇

- 一四、當懸下ニ農業上最速ニ改良セサルヘカヲサルモノハ何件ナルカ又改良ノ意見アレハ之ヲ記セ
- 一五、農業ヲ小學生徒ニ教授スル方策ニ就キ各自ノ意見ヲ記セ

明治二十五年高等小學校本科准教員檢定試験問題

倫理科

- 一、義務ノ定義ヲ集ケ之ヲ解釋スヘシ
- 二、兵役ノ義務ヲ述ヘヨ
- 三、正義ノ義務ニ就キ各自ノ意見ヲ述ヘヨ
- 四、朝ニ道ヲ聞キ夕ニ死スレトモ可ナリ
右ノ意義ヲ解シ各自ノ意見ヲ述ヘヨ
- 五、古人曰ク孝ハ百行ノ本ナリト果シテ其ノ理アリヤ否ヤヲ論セヨ

教育科

- 一、鉄方ヲナスニツキ教師ノ注意スヘキ要件ヲ問フ
- 二、試業ノ目的及口答筆答兩法ノ得失ニ就キ各自ノ意見ヲ述ヘヨ
- 三、理科教授ノ一般ノ方法ヲ問フ(女子ニハ之ヲ省ク)

- 四、日用文教授ノ方法ニツキ最良ト考フル所ノ二法ヲ述ヘヨ
- 五、教科書ヲ用セテ歴史ヲ教授スルニハ如何ナル方法ニヨルカ併セテ其ノ圖書教授ト如何ナル異同アルカヲ示セ
- 六、分數除法ニ於テ法ノ分母子ヲ轉倒シテ實ニ乘スルコトヲ理解セシムル方策ヲ問フ

但シトナル問題ニ付キ説明セヨ

國語科(文法)

- 一、左ノ漢字ノ訓ヲ假字ニテ記セ
 曉 故 桶 大分 鯢 日出 參 俵
- 二、樂敬ノ意ヲ現ス方法ハ幾種アルカ且其ノ境シ方ヲ示セ
- 三、左ノ文ニ誤謬アレハ訂正スヘシ又其ノ訂正スル理由ヲ記セ
 一、犬は庭に居る 二、得せしむへし 三、花を見らん
 四、受くるべし 五、及第するぞ羅しけれ
- 四、疑問ニ用マル天爾遠波ノガトヤトノ差別ヲ詳記セヨ
- 五、天爾遠波ノきけんらんけりハ如何ナル處ニ使用スヘキカヲ記セ

國語科(作文)

(漢字交リ文)

一一一

- 一、志ハ堅カラン事ヲ要ス
 - 二、怠惰ヲ戒メ生徒ノ交リハ慎ムニ注意を促す文
 - 三、天候異常受持致シ生徒ト假定有リハ暇ヲ書讀メテ對用スルヲ要ス
 - 四、學問漢田文ノ科限定シテハ其ノ差限ヲ精細ニシテ
- 家有老父也而遊之遠遊勉強者每日積累遂臻轉復思今日光陰實爲可愛之日而費諸遊學闕定省曠瀟瀟無暇母懷遠望之憂爲志地聞一罪人矣然今日所學之業乃重大事件有勝勝於定省者故競競以成其業然後歸養其母以贖其罪矣反覆思之而後速就業至於夜間及終日成其業之業一勝於其母者其重大果有勝於定省者乎心神已安而後敢就寢此則遊學中第一緊要之事實也一日遊之這宿則不孝之罪竟不待免焉

算術科(珠算)

- 一、七重三首九千一圓與千八百四圓五毛乘スレハ其ノ積如何
- 二、七千九個四分九厘一毛ヲ一個二分三厘四毛五朱ヲ以テ除スレハ其ノ商如何
- 三、今時點三二里十五町五段平入力傳ニ乗遊八里三十五町寸裏間又距リマカニ遊三隣
- 四、今時點三二里十五町五段平入力傳ニ乗遊八里三十五町寸裏間又距リマカニ遊三隣
- 五、今時點三二里十五町五段平入力傳ニ乗遊八里三十五町寸裏間又距リマカニ遊三隣
- 六、今時點三二里十五町五段平入力傳ニ乗遊八里三十五町寸裏間又距リマカニ遊三隣

ノ和ニ等シク第二學級ハ第三學級ヨリ六十五人多シテ統計二百十八ナリト

云フ各學級幾人ナルカ

- 一、米麥共三二十五石アリ此ノ代金合計百四十七圓四十九錢ニシテ各一石ノ價米ハ一圓四十五錢麥ハ四圓七十三錢ナリ各幾石ナルカ
- 二、雇夫アリ三日雇ハレ其ノ雇錢ト初ヨリノ所持金一圓トヲ合セテ若干トナレリ然レ共ノ五分ノ三ヲ費シ後又前ト同シ日給ニテ四日雇ハレ其ノ雇錢ヲ合セテ所持金一圓三十二錢トナレリト云フ由リテ其ノ日給ヲ問フ
- 三、金四百八十八圓ヲ七男九女及三童ニ分シ各女ノ所得ハ各男ノ五分ノ三ニ等シ各童ハ各女ノ七分ノ六ニ等シ各男女及童ノ得ル所如何
- 四、入夫五十八人毎日八時ヲ働キ幅二間四尺ノ道六町ヲ十五日ニ修理ス今更ニ三十八人ヲ雇ヒ毎日八時三十分ヲ働キ幅二間五尺ノ道十二町四十八間ヲ修メンニハ幾日ヲ要スルカ
- 五、年利八分(一年百圓ニ付八圓ノ利ヲ生スルヲ云フ)ノ單利ニテ若干圓ヲ貸シ其ノ元利合計ガ元金ノ三倍トナルニハ幾年ヲ要スルカ
- 六、或人一反行ノキ七十五圓ノ相場ニテ方形ノ田地ヲ買ヒ代金百八十九圓六錢二厘五毛ヲ拂ヒ其ノ田ノ周田ハ幾間アルカ(女子ニハ之ヲ省ク)
- 七、環形田ノ面積計 田ノ一日面積ノ幾何ヲ問フ

一一一

- 一、單式簿記法ニ於テ用フル日記帳ノ効用ヲ説ケ
 - 二、手形トハ如何又手形ノ種類ヲ舉ケヨ
 - 三、左ヲ如キ取引アリトシ此ヲ複式簿記法ニヨリテ仕譯帳ニ記入スレハ其ノ貸借ノ區別如何
- 明治二十五年七月一日
- 玄米五千俵ヲ肥後屋國太郎ヨリ一俵ニ付二圓替ニテ現金ニテ買入ル
- 全月二日
- 玄米二千俵ヲ一俵ニ付二圓三拾錢替ニテ豊後屋國吉ニ付ニテ賣渡ス
- 全三二日
- 白米五百俵ヲ一俵ニ付三圓替ニテ美濃屋米三番ヨリ本店振出、同人宛本日附五十日限仕拂ノ手形ニテ買入ル
- 全月四日
- 玄米千五百俵ヲ一俵ニ付二圓二十五錢替ニテ豊前屋大助ニ同人振出、本店宛本日附六十日限仕拂ノ手形ニテ賣渡ス
- 全月五日
- 玄米千五百俵ヲ一俵ニ付二圓替ニテ兵庫縣神戸港兵庫屋小太郎ニ同地ニテ賣捌ノ爲積ニ送ル

地理科

- 一、九州本島ノ地勢ニ就キテ畧述シ其ノ山脈ノ方向、平原ノ位置ヲ明シ
- 二、東山道及北陸道ノ著名ナル都會ノ名稱及其ノ位置ヲ記シ
- 三、雲連山、伊吹山、乘鞍山、岩木山、月山、尾ノ道港、島羽港、下田港、浦賀港
- 四、南ノ位置ヲ問フ
- 五、英吉利、佛蘭西、支那、墨土哥、以太利、右諸國ノ著名ナル物産ヲ列舉セヨ
- 六、アルプス山脈、ヒマラヤ山脈、アルプス山脈、アンデス山脈、ロツキー山脈、マダガスカル島
- 七、マダガスカル島、ルスン島、サンドウイチ島
- 八、右ノ位置ヲ問フ
- 九、北半球ニ位セル諸國ニ於テハ夏期ハ暑クシテ冬期ハ寒キ理由如何
- 十、歴史科
- 十一、戦國政治ノ沿革ヲ畧述セヨ

- 二、戰國時代群雄ノ割據ニシテ概況ヲ記セ
- 三、伊井大老ノ害ニ遇ロシ原因ヲ記セ
- 四、島原戰爭ノ原因結果ヲ問フ
- 五、奈良ノ朝ノ頭文學ノ景況ヲ畧述セヨ

博物科

- 一、入浴ニ入浴ノ必要ナル所以ヲ記セ
- 二、体温ヲ生スル原因ヲ問フ
- 三、鳥類ノ能ク飛翔ニ適スルハ如何ナル構造ニ由ルカ
- 四、脊椎動物ノ呼吸ノ方法ヲ列舉セヨ
- 五、植物ノ葉及根ハ其ノ植物体ニ如何ナル効用アルカ
- 六、完全ナル花ノ供フル諸機關ノ名稱位置及形狀ヲ記セ
- 七、黃銅礦ノ性質及効用ヲ記セ
- 八、純金礦ノ性質ヲ記セ

物理科

- 一、煤油石造ノ家屋ニ向シテ木造ノ家屋ニ比シテ寒暑ニ應シテ強ク感ズルハ何故ナルカ
- 二、水中ニ手尾ヲ入レシメテ其ノ長キ實體ヨリ稍縮減スルカ分知テ見ズルハ何故ナルカ
- 三、天鰐ノ如何ナル原理ニ基キテ構造セシモノナルカ

- 四、雷ノ音響ハ平地ニ於ケルヨリ山間ノ地ニ於テ強ク聞ユル理由ヲ説ケ
- 五、各自知ル所ノ電池ノ中ニ就キ其ノ一ノ構造及使用法ヲ説ケ

化學科

- 一、鑊器ニ油ヲ塗レハ其ノ面永ク錆ヲ生セサルハ如何
- 二、硬水ト柔水トノ識別法ヲ説ケ
- 三、太氣ノ混合物ナルヲ證スル試驗法ヲ問フ
- 四、蠟燭ハ燃燒シテ如何ナル物質ヲ生スルカ
- 五、紫蘇ノ葉ノ搾汁ニ梅酢ヲ注加シテ其ノ液赤色トナル理由如何

習字科

秋月揚明輝冬嶺秀孤松
右楷書
今夜納涼旁某橋邊へ御散步は如何哉御都合相伺度候
右行書

圖畫科

- 一、一ツノ直線ト一ツノ圓トアリ別ニ既定ノ半徑ヲ有スル圓形ヲ作り直線ト圓トニ觸レシムル法如何
- 二、一邊ヲ知リテ隨意ノ等邊形ヲ畫ク法如何

- 三、三角形アリ其ノ一邊ニ平行セル直線ヲ引キテ其ノ三角形ノ積ヲ等分スル法如何
- 四、長短二徑ヲ知リテ卵形ヲ畫ク法如何
- 五、陰書 景色

音樂科

- 一、單音唱歌ニ必要ナル記号ヲ記セ
 - 二、長音階模範音階ヲへ調及イ調音階ニ移ス方法如何
 - 三、音階四音度ノ教授法ヲ數字及音符ニテ記載セヨ
 - 四、歌曲獨吟(單音唱歌)
 - 五、風琴奏法
- 思ひ出れは、玉の宮居、富士山、年立つ今朝、
燕、鏡なす、友どち、我が大君、紀元節、天長節、
春の彌生、螢の光、進めく、偶田川、霞か雲か

体操科〔技術〕

- 一、矯正術第十三、十四、十五節
- 二、第二徒手第三節ヨリ第十三節ニ至ル
- 三、第二陸鈴第一節ヨリ第十節ニ至ル

体操科〔問題〕

- 一、徒手ト矯正術トノ舉動ノ差違ヲ記セ
- 二、立銃ニアル不動ノ姿勢ヲ記セ
- 三、右側面ニ重複シテ行進シアルモノヲ左正面へ行進セシムルニハ如何ナル号令ヲ用フルカ又其ノ動作ヲ詳記セヨ
- 四、早歩、駢歩、襲歩、ノ一歩ノ長サ及各一分時ニ換ケル速度ハ如何

明治二十五年高等科專科准教員檢定試験問題

裁縫科

(一) 袷羽織裁縫

- 此切レ寸尺 (長 六尺 市一尺九寸五分)
- 仕立上ノ寸尺左ノ如シ
- 一 身丈 壹尺五寸
- 一 うしろ巾 六寸五分
- 一 前巾 四寸
- 一 袖丈 九寸
- 一 袖巾 六寸五分

一 袖口 五寸五分
 但し袖口は表の切れ裁所なきゆへ表切れをかくるに及ばず裏の切れのまゝにて宜し

一 丸たもと

一 袖付 〔並男羽織仕立の如くふりあげず 袖長は皆つくべし〕

一 ゆき 寛尺三寸

一 袴巾 寛尺五分

一 但ししんひとへ入ると様に裁つべし

一 ひも付 六寸五分

右の外寸法、羽織のおほきとを見斗らひ隨意にまむべし

(二) 子供十一二才袴裁縫

一 此ノ切レ寸尺 〔長壹丈七尺 巾九寸五分〕

一 紐下 仕立上の寸法 寛尺六寸

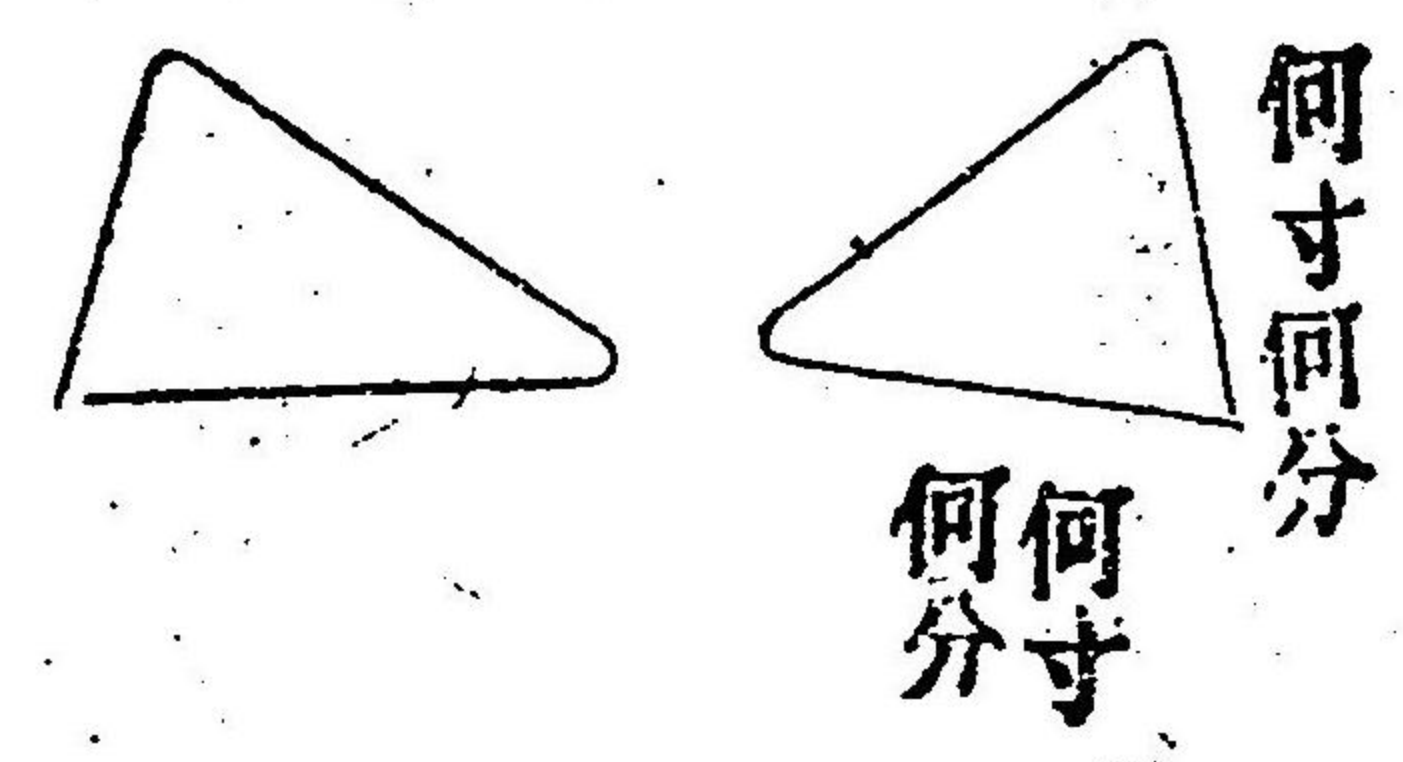
右の外寸法は、すへて年齢に應じて見斗ふべし

但紙の事故紐は付くるに及ばず、板紐かくし等は其切レを取置き仕立の寸尺 雛形の通書入るべし

尤ひはきれにて仕立うる如く折り付くべし紐は付くるに及ばずひも付けの 所は雛形の通りとするべし

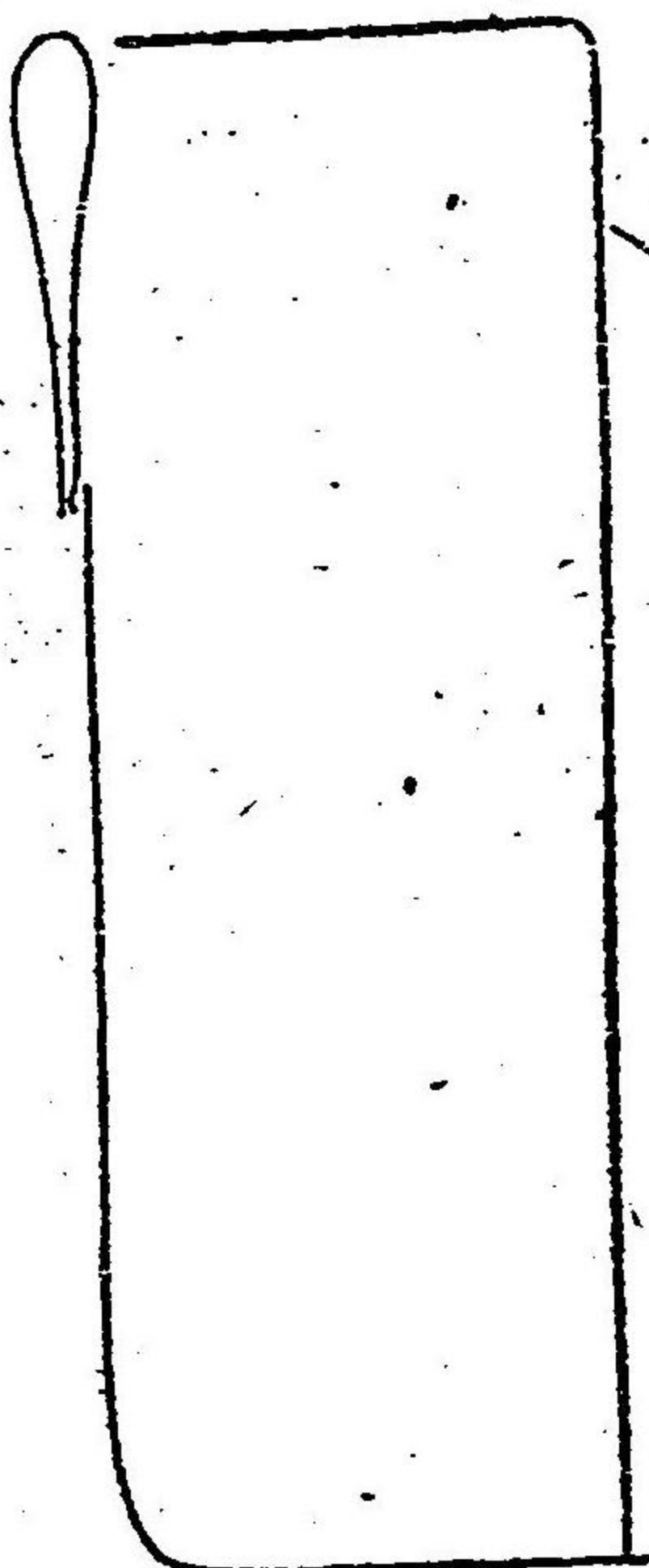


分何寸何

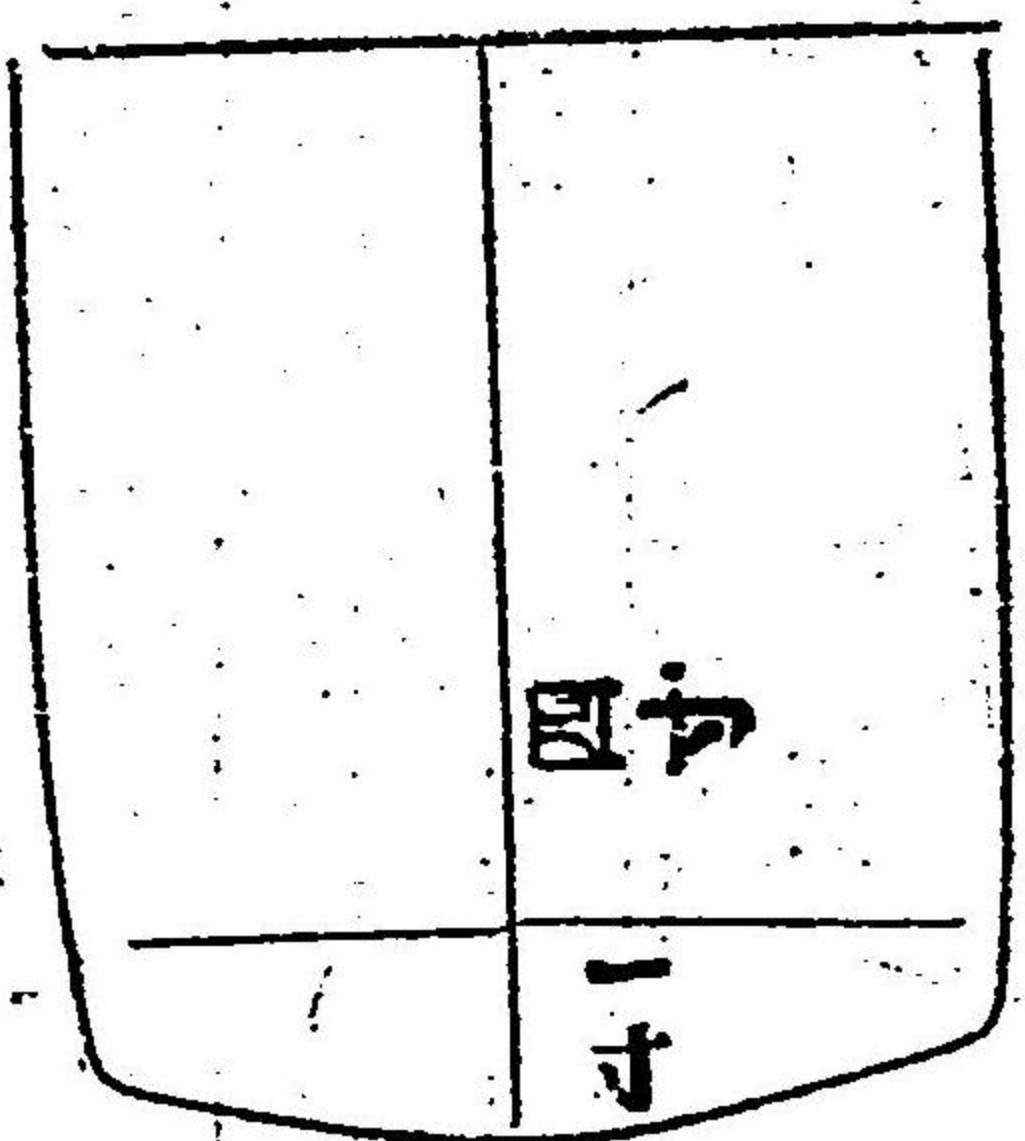


仕立上
 の寸中
 に書入
 る事

（三）縮入ノ袖縫法



仕立上の寸法
袖口四寸五分
但丸たもと



仕立上の寸法
雛形の通

明治二十五年尋常小學校本科准教員檢定試験問題

倫理科

一、父母ニ對スル義務ヲ述ヘヨ

二、耐忍ノ徳ニ就キ各自ノ意見ヲ述ヘヨ

三、自己ニ對スル義務中身体ニ關スルモノヲ述ヘヨ

四、義ヲ見テ爲サルハ勇ナキナリ

右ノ意義ヲ解シ各自ノ意見ヲ述ヘヨ

五、曾子曰ク吾日ニ吾カ身ヲ三省ス人ノ爲ニ謀リテ忠ナラサルカ朋友ト交リテ信ナ

ラサルカ

右ノ意義ヲ解シ各自ノ意見ヲ述ヘヨ

教育科

一、教室内ニ於テ生徒ノ注意ヲ把握スル方法ニツキ各自ノ意見ヲ述ヘヨ

二、初メテ一學年ニ入學セシ生徒ニ仮字ヲ教授スルニ當リ最初二週ノ間毎日教授ス

ヘキ教程ヲ順次列舉セヨ

三、作文ノ問題撰擇上注意スヘキ要件ヲ問フ

四、習字科ニ於テ新文字ヲ授クル一時間ノ手續ヲ記載シ其ノ教授ノ際教師ノ注意ス

ヘキ件ヲ示セ

五、左ノ問題ヲ教授スル教案ヲ作レ

三人ノ兒童ニ各二本ツ、ノ鉛筆ヲ與ヘシニハ總計ニテ幾本ノ鉛筆ヲ要スヘキカ

國語科〔作文〕

一、講習會ノ必要 (漢字交リ文)

二、落第せし生徒の父兄を慰むる文 (書牘文)

國語科 (讀講)

或人來テ父ノ不慈ヲ井川東村ニ訴テモアリ東村聞キテ答ヘズ泣然トシテ涙下ル其ノ人驚キテ其ノ故ヲ問フ東村曰ク乃ノ言ヲ聽クニ鳥鳴ニ似タリ甚不祥ナリ過ニ去ル可キノミ夫弊廬ニ詣ルハ趾ナリ不慈ヲ告ルハ舌ナリ其ノ趾其ノ舌孰カ得テ之ヲ運轉スル親ノ遺體ヲ行ラニ非ラサルナキヲ得ヤ杖ヲ以テ根ヲ傷骨肉相觸ム天地ノ容レザル所王法ノ藥用スル所不祥焉ヨリ大ナルハ莫シ諦リ畢リテ復泣ク其ノ人慄然トシテ自失シ頭ヲ叩キ罪ヲ謝シ後自反省シテ遂ニ父母ニ孝アリキト云フ

右全文ヲ詳解スヘシ

算術科 (珠算)

- 一、九千八百五十三百九十八ヲ加ヘ其ノ和ニ四百七十五ヲ乘スレハ其ノ積幾何ナルカ
- 二、米二百万石ヨリ七十二万一千二十一石二斗五升ヲ減シ其ノ差ヲ六千七百五ヲ以テ除スレハ其ノ商如何
- 三、算術科 (筆算)

一、或ル人一日十六錢ニテ人ヲ雇ヒ若夜業ヲ命セハ一夜ニ付三錢ノ増給ヲナスヘシト約セリ然ルニ此ノ雇人七十五日ニシテ十三圓十七錢ノ雇賃ヲ得ヘシト云フ問フ此ノ雇人夜業セシバ幾夜ナルカ

二、米商アリ金九百八十五圓八十錢メテ玄米四百三十八俵ヲ買ヒ其ノ内二百五十六俵ヲ一俵二圓五十錢ツ、ニテ賣リ其ノ後相場下落ノ時殘米ヲ悉ク賣リ拂ヒニ損益ナキリキト云フ問フ殘一俵ヲ幾何ニ賣リシカ

三、甲乙二人申府ヨリ乙府ニ送リシニ乙ハ甲ヨリ三日後レテ出發シ毎日甲ハ十二里乙ハ十五里ヲ歩ミシニヨリ二人同時ニ乙府ニ着キシト云フ由テ問フ兩府ノ距離ハ幾何ナルカ又問中ハ幾日ヲ要セシカ

四、或ル人所有金ノ五分ノ一ニテ總遺傳券ヲ買ヒ又三分ノ一ニテ地面ヲ買ヒ又六分ノ一ヲ他人ニ貸シ付ケシニ現時ノ所持金ハ最初ノ所持金ノ十五分ノ一ヨリ二百四十圓多シト云フ最初ノ所持金ヲ問フ

五、道路修繕ノ爲メ人夫十二人ヲ雇ヒ毎日八時間ツ、働カシメ二十五日ニシテ其ノ工事ノ三分ノ二ヲ成スト云フ今人夫八十八人ヲ増シ毎日ノ働ヲ二時間ツ、減セハ幾日ヲ要スルカ

地理科

一、筑後川、庄川(郷川トモ云フ)、信濃川、天龍川、利根川、阿賀川、北上川、淀川、石狩

川、大井川

右諸川ノ流通セシ諸國ノ名稱ヲ列記セヨ

二、九州本島ニ於ケル平原ノ位置ヲ記セ

三、名古屋、金澤、仙臺、森岡、静岡、廣島、熊本、豊山、富山、函館

右諸都會ノ所屬縣名並ニ國名ヲ記セ

四、土野、若狹、美濃、加賀、山城

右諸國ノ著名ナル物産ヲ列記セヨ

五、大分縣内ノ重ナル港ノ名稱及其位置ヲ記シ又縣下十二郡役所所在地ノ名稱ヲ

記セ

歴史科

一、三種ノ神器ノ傳國實タル所以ヲ記セ

二、南朝ノ忠臣ヲ列記セヨ

三、關原戰争ノ原因ヲ問フ

四、伏見鳥羽ノ戰争ノ顛末ヲ零述セヨ

五、薩摩鎮尼ノ零傳ヲ記セ

習字科

人皆百炎然我夏夏日盛

右楷書

昨日は見事之鯉魚御惠贈に預り有りかたく賞味致候

右行草書

体操科〔技術〕

一、矯正術第六、七、八、九、節

二、第二徒手第十五節ヨリ、リマテ

体操科〔問題〕

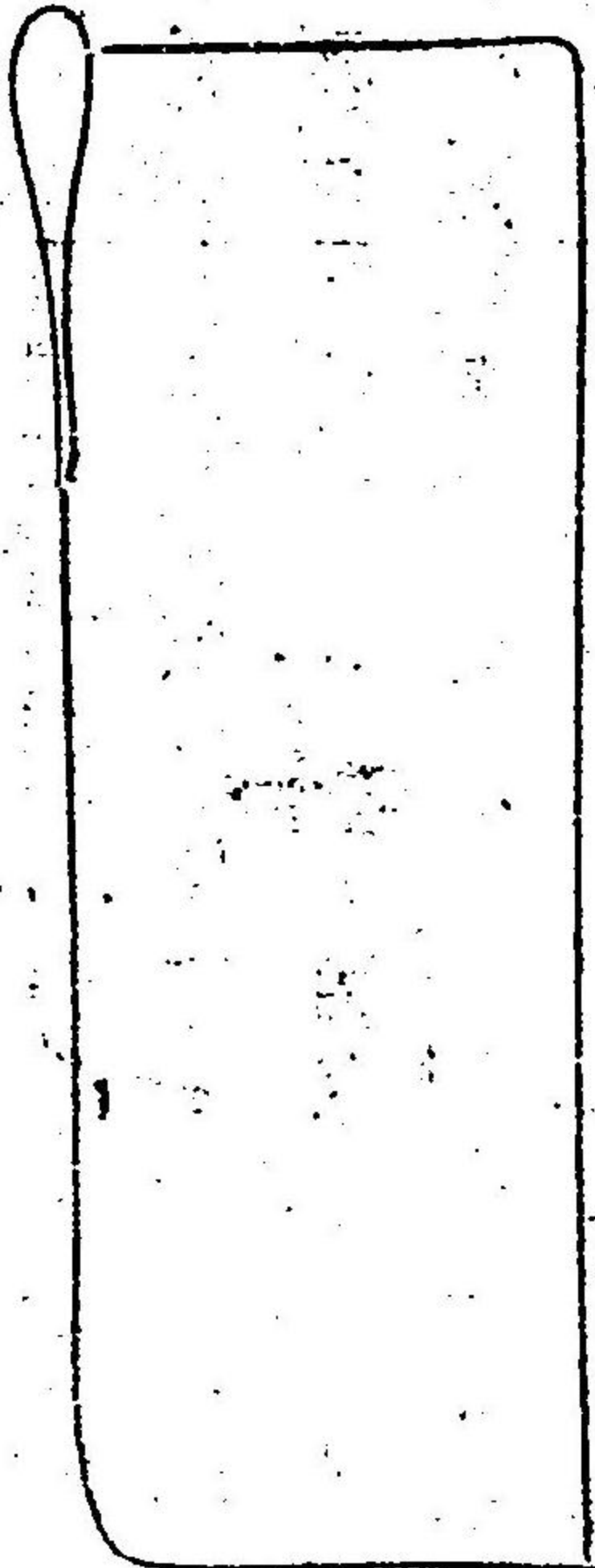
一、氣ヲ付ケノ号令ニテ各生徒ノ取ルヘキ姿勢ヲ記セ

二、右轉回(回レ右)ヲ説明セヨ

三、排列ヲ行フニハ如何ナル号令ト如何ナル方法トヲ用フヘキカ

裁縫科

(一) 袖襷縫法



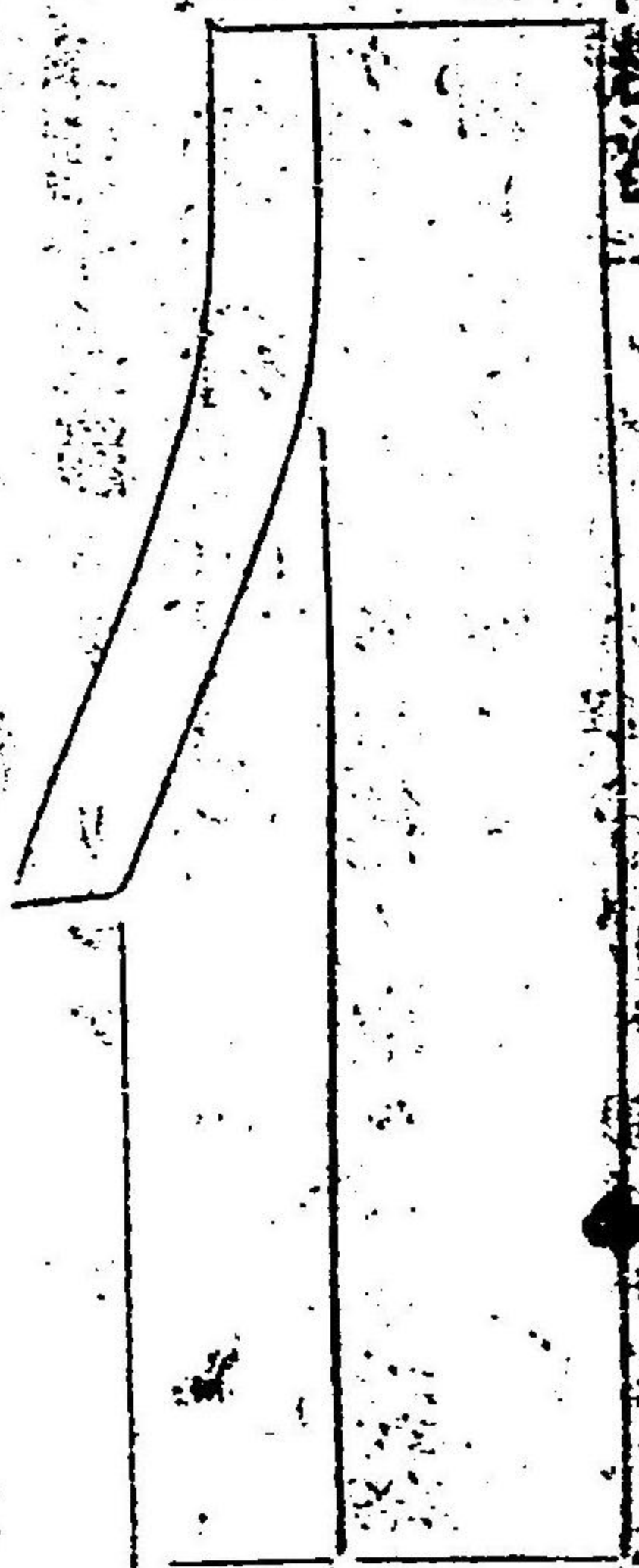
仕立上の寸法袖口六寸
丸たもと

仕立上の寸法
五分



(二) 單物衿縫法

仕立上寸法
衿巾 三寸五分
衿下 一寸二分
五寸



(三) 身裁法

此ノ切レ爾面物
一袖丈 六尺表

明治廿六年尋常小學校本科正教員檢定試驗問題

修身科

- 一、有子曰「信義之進也、非其言復之、非其禮之進也、非其恥辱之進也、非其困窮之進也、非其親戚失ハサルトキハ亦宗トスベキナリ」
- 二、子曰「人ノ過ハ各其ノ黨ニ於テ不遇ヲ觀テ斯ニ仁ヲ知ル」
- 三、父母ニ事ヘテ幾諫ス志人從ハサルヲ見テハ又敬テ違ハテ勞シテ怨ミテ
- 右ノ意義ヲ解シ各自ノ意見ヲ述ベヨ
- 四、吾國ニ於テ忠君ト愛國トハ如何ナル關係ヲ有スルガ
- 五、人ノ名譽ニ對スル正義ノ義務ヲ述ベヨ

教育科

- 一、兒童ノ注意ノ特質ヲ説キ之ニ關スル教授上ノ注意ヲ述ベヨ
- 二、言辞ノ性質ヲ説キテ教授上其ノ意義ヲ了解セシムル方法ヲ述ベヨ
- 三、觀察力トハ如何ナル心カナルカ且其ノ發達ノ必要ナル所以ヲ如何
- 四、徳性發達上社會ノ影響ヲ詳述セヨ
- 五、隨意游戲及体操ノ教育上ノ効驗ヲ各別ニ説述セヨ
- 六、尋常科第一學年ノ算術教授ノ順序ノ大要ヲ記述セヨ
- 七、修身科教授ノ材料選擇上注意スベキ條件ヲ記述セヨ
- 八、生徒ニ課クベキ習慣ノ主ナル種類ヲ舉ケ其ノ養成法ニ關シテ各自ノ意見ヲ述ベ

九、尋常小學校ニ於テ設備スヘキ必須物件ヲ列舉セヨ
 一〇、尋常科第三四學年ノ程度ノ生徒ヨリ成ル一學級ノ一週間ノ教授時間表ヲ編製セヨ

備考	各教科目及教授時間ハ左ノ如ク
修身	三時間
作文	三時間
算術	七時間
讀書	七時間
習字	五時間
体操	三時間

國語科〔讀講〕

一、後光明帝痘瘡ヲヤミテ遂ニ神サリ給ヒレカハ朝議舊ニ從ヒテ茶毗ニナシ奉ラン
 トス時ニ魚屋ノ八兵衛ト云ヒシモノ當ニ膳部ノ命ヲキ、テ宮門ニ出入セルヨリ
 コレヲキ、テイタク悲ミ歎キテイハク畏キ天皇ノ御身ニシテ何ソ天命ノ薄キヤ
 ソノウベ火葬ハ聖人ノ道ニアラストキクマシテ帝ノ世ニ御坐シヤシ、時ハ常ニ
 淨居ノ處ニ在ルヲ疾ミテ異端ヲ斥ケ給ヒシ、尤甚シキ然ルニ今ソ、終ヲ送
 リ奉ルニソノ斥ケ給ヒシ所ニ從ヒテ茶毗ヲ行ハントス我等ノ如キモノトテモ目
 ノ瞑セサル限ハ肯テ朝議ニ從ハス諫メ申シテ從ハレズバ身ヲ死シテ之ヲ止メ奉
 ラントテ仙洞及執政ノ門ニ奔走シ至ル處ニナキ號ヒテ切ニ火葬ヲ止メテ大行ノ

志ニ從ハレコトヲ請フ時ニ朝議俄ニコレヲ改メテ火葬ノ終ニ止ミシハ全ク八兵衛
 衛ノ忠誠ニ感シケルナリトツ
 二、宋太宗趙普ヲ相トセシトテ或人ニトヒシニ普ハ山東ノ學究ニテ只ヨク魯論ヲ讀
 ムニコツ候ヘト對テ太宗疑ヒテ普ニ告ケラレシカハ普對ヘテイフケニ臣ハ書ヲ
 シラス但ヨク魯論ヲヨミカツテ藝祖ヲ佐ケテ天下ヲ定メリワカニ半部ヲ用ヒタ
 レトモ尚一半アリモテ陛下ヲ佐ケ奉ルヘシト申シ、カハ太宗釋然トシテアケテ
 相トス

(右詳解)

國語科〔作文〕

(漢字交リ文)

- 一、青英ノ樂
- 二、檢定試験場ノ景況ヲ友人ニ報スル文 (書牘文)
- 一、左ノ漢字ノ訓ヲ假字ニテ記セ
 冠、髒、漂、哀、紅、環、惜、遠、漸、岩、價、
- 二、過去現在未來及過去現在ノ推量ヲ示サシニハイカナル詞ヲ用フヘキカ例ヲ舉ゲ
 テ示セ
- 三、左ノ文章ヲ解剖シテ一々文法ノ名ヲ附セヨ

山にせせかく樵夫は北風を逐てびて夕にかへり野をぬしなぐ商客は白露をばらひて曉にいつ面々のたしなみまらしくなりといへとも各のくるしみは皆ふれ渡世の一事なり

四、左ノ歌文ノ係結ヲ示セ

丹やあらぬ春やむかしの春ならぬわか身ひとつはもとの身にして昨日とて早苗とりしかいつのまに稲葉うよきて秋風のふくいつれも旅行こゝろあはれいとたやすからぬものにはありけれ今より後もいかにならん今にまされるもの多く出てくべし

五、左ノ文ノ誤ヲ正シテ學說ヲ述ヘヨ

古より傳ふ所なり

かく御文を玉はりし

古人の既に論じしものなればははす

うれをばいかんぞか存すと申す

これはゆゑとときとを覺へり

算術科〔珠算〕

- 一、一畝夫アリ一反ノ稻ヲ刈ルニ十二時二十四分三十秒ヲ費ストスレハ三反五畝ニ十五歩ヲ刈ルニ要スル時間如何

- 二、米若干石ヲ買入レシニ之ヲ一石ニ付七圓三十一錢ニ賣ルトキハ八十五圓八十錢ヲ損スヘシ然ルニ若其人ノ米悉皆ヲ以テ一石ニ付四圓九十三錢ノ麥三百三十六石ト交換スルトキハ百四十五圓二十三錢ヲ利スヘシト云フ買入レシ米ノ石數ヲ問フ

- 三、長二町十五間幅六尺二寸五分ノ溝ヲ堀ルニ其ノ深サハ全長ノ一半ヲ四尺五寸トシ他ノ一半ヲ五尺二寸五分トス此ノ工費ヲ一立方坪ニ付一圓二十八錢トスレハ費用ノ總計幾何トナルカ
但答數ヲ得ル所以ヲ記セ

算術科〔筆算〕

- 一、一俵三斗五升入ト四斗二升入トノ米合セテ百三十八俵アリ其ノ價四百十六圓五十九錢八厘ナリ今若一斗ニ付六錢下落スルトキハ其ノ價三百八十四圓五十五錢ニ墮トナルヘシト云フ然レハ兩種ノ俵數各如何
- 二、唧筒一箇ヲ使用シテ一池ノ水ヲ汲出スニ三時間ニシテ水面五寸ヲ低下シ又同シカノ唧筒三箇ヲ使用シテ汲出スコト四時間ニシテ水面二尺八寸ヲ低下シメリト云フ若シ同シカノ唧筒二箇ヲ以テ汲出スコト二時間ナルトキハ水面幾何尺ヲ低下スヘキカ尤水ハ不斷湧出スルモノトス
但答式ヲ得ル所以ヲ記セ

三、火藥ノ製造ハ本邦ノ古法ノ一ニ依レハ硝石九硫黃一木炭二ノ比ヨリ成ル又現今用アル新法ハ硝石四分ノ三硫黃十分ノ一木炭二十分ノ三ナリト云フ今茲ニ古法ノ火藥十五貫目ヲ製造スヘキ材料アリ新法ニ之ヲ改製セント欲セハ此ノ三品中何ヤヲ幾何宛増加スヘキカ

四、金七千圓アリ今其ノ内金五十八百圓ヲ年利率一割二分ニテ甲某ニ貸シ其ノ後若干月ヲ經テ餘金ヲ年利率一割五分ニテ乙某ニ貸シケリ而シテ初ヨリ一年ニシテ利金合計八百一圓ヲ得マリト云フ乙ニ貸シシ月數如何

五、偶數ト奇數トノ積ハ偶數ニシテ奇數ト奇數トノ積ハ奇數ナルコトヲ証明セヨ

六、不可約分數(已約分數トモ云フ)ヲ小數ニ化スルニ當リ有限小數ト無限小數(循環小數)トヲ得ルハ如何ナル場合ニアルカヲ詳述セヨ

地理科

- 一、我が國全國ノ地勢ヲ記セ
- 二、左ノ位置ヲ問フ
 - 猪苗代湖 與謝海 友島海峡 犬吠崎 那須野原 壹岐 擇捉島
 - 石巻港 吳港 室蘭港 下田港 首里 野邊地港 松本町 赤穂町
 - 柳川町 米澤市 牛野銀山 熱海温泉 天橋立
- 三、我が國ニ於テ左ノ物産ノ著名ナル地名ヲ舉ケヨ

- 生糸 陶器 漆器 石炭 茶 烟草 綿絮 砂糖 酒類

四、歐羅巴ノ略圖ヲ描キ著名ナル山川海灣ヲ記入セヨ

五、左ノ位置及所屬國名ヲ問フ

- コンロン山脈 キリマンジャロ山脈 アレガニール山脈 ユーフレナース
- 河 オハヨ河 カリピアン海 ベンガル灣 ビクトリア湖 ミシガ
- ン湖 ベーリンツ海峡 ヤセラン海峡 カムチャツカ半島 ニューギニ
- ヤ島 マダガスカル島 リオン府 ボンベイ府 ダブリン府 パン
- ターバー府 リオシマテローロー府 ホノル、府

歴史科

- 一、帝室ノ尊貴ナル所以ヲ詳述セヨ
- 二、親王政事ノ起因ヲ述ヘヨ
- 三、上古ヨリ鎌倉幕府創設ニ至ルマテノ兵制沿革ノ概要ヲ記セ
- 四、戰國時代ニ於ケル宗教勢力ノ狀ヲ記セ
- 五、井伊直弼ノ爲人ヲ叙シ且其ノ勳功ヲ述ヘヨ

習字科

洞窟深遠溪水縱橫樹木如畫上疎雲霄

右指書
多年之研鑽其功不空今度御卒業被成候由一段之大慶ニ御坐候
右行章書

体操科〔技術〕

- 一、第二徒手体操第五節ヨリ第廿一節マテ
- 二、第一哑鈴第一節ヨリ第十五節マテ
- 三、球竿体操第一節ヨリ第廿五節マテ
- 四、柔軟体操第一教第四、五、第三教第三、四、五、運動
- 五、實地号令指揮

体操科〔問題〕

- 一、正面及后方ニ於ケル整頓ノ方法ヲ説明セヨ
- 二、横隊行進間ノ方向變換ヲ説明セヨ
- 三、立銃ヨリ捧銃ヲナスコトヲ説明セヨ
- 四、小隊ノ編成ヲ詳記セヨ
- 五、駈歩及速歩ニ於ケル一分間ノ速度ハ如何

明治二十六年高等小學校專科正教員檢定試驗問題

農學科

- 一、土壤ノ吸取力及保蓄力ヲ記セ
- 二、成硝作用下ハ如何又此ノ作用ノ土壤ニ及ス效能ヲ問フ
- 三、輪作法ノ理由ハ如何
- 四、犁ノ各部ノ名稱及作用ヲ舉ケヨ
- 五、灌溉ニ就キテ注意スヘキ諸項ヲ列記セヨ
- 六、肥料ノ價值ハ何ニヨリテ定マルカ又窒素磷酸及加里ノ價ノ割合ヲ示セ
- 七、肥料ノ施與量ハ如何ナル諸點ヲ以テ定ムルカ
- 八、稻ノ撰種、施肥、及収獲ニ就キ各自ノ意見ヲ記セ
- 九、桑園ニ施スヘキ三榮養分ノ量ヲ舉ケ併セテ桑樹ノ促芽法ヲ記セ
- 一〇、麥奴ノ發生ノ有様ヲ述ヘ其ノ豫防法ヲ記セ
- 一一、蠶兒ニ桑花ヲ給與スル利害ヲ問フ
- 一二、勞役用家畜ニ含水炭素物ト可消化蛋白質物トヲ多ク給與セサルヘカラサル理由ハ如何
- 一三、我が邦ノ小農家ニ於テハ牛馬何レヲ飼養スルヲ利トスルカ
- 一四、農業練習地ニ於テ小學生徒ニ實業ヲ授ケル順序方法ヲ記セ
- 一五、小學生徒ニ農業科ノ興味アルヲ知ラシメシニハ如何ナル方法ヲ取ルヘキカ

音樂科

- 一、調號ニ於テ嬰變ヲ持テハ調及臨時嬰變本位記号ノ使用方ヲ説明セヨ
- 二、十二箇音程ノ半音ヨリ成ルハ調音階及變本調音階ヲ各譜表上ニ示セ
- 三、鍵盤上ニ向テ手指ノ正シキ位置及諸音ノ繼續スルモノ五音以上ナルトキハ如何ニ之ヲ奏スヘキカ各詳細ニ例解セヨ
- 四、口授唱歌ノ教授上注意スヘキ事項ヲ記セヨ
- 五、歌曲獨吟(單音及復音唱歌)
 - 富士山、雨聲 (小學唱歌集初編)
 - 岸の櫻、深谷の泉、五日の風 (全 二編)
 - 菊、招魂祭、兄弟妹 (全 三編)
 - 天長節、保昌 (幼稚園唱歌集)
 - 天長節、保昌 (中等唱歌集)
- 六、風琴彈奏(單音及復音)
 - 關の板戸、霞不妻か、太平の曲、 (小學唱歌集初編)
 - 關の板戸、霞不妻か、 (全 二編)
 - 誠は人の道、千里の道、 (全 三編)
 - 學べく、やゝ花櫻、 (幼稚園唱歌集)

紀元節、織袴す錦、

(中等唱歌集)

マーチ一曲

体操科(技術)

- 一、第二徒手体操第一節ヨリ半マテ
 - 二、第二陸鈴第一節ヨリ半マテ
 - 三、球竿体操第一節ヨリ半マテ
 - 四、第三棍棒第一節ヨリ終マテ
 - 五、柔軟体操第一教第三、四、第二教第三、四、第三教第三、四、運動
 - 六、器械体操
 - 鐵棒右臂掛ケ振リ上リ彈道下リ
 - 柵兩臂掛ケ三動上リ逆立下リ
 - 木馬三節飛ヒ
 - 七、銃ノ操法
 - 八、銃劍術
 - 九、實地號令指揮
- 体操科(問題)
- 一、木環及豆莢体操ヲ爲スニ必要ナル間隔ヲ取リ方ヲ説明セヨ

- 二、徒手暗算珠算棍棒木環豆莢ノ各体操ニ就キ各別ニ其ノ効用ヲ詳記セヨ
- 三、小隊ニ於テ四列射撃ヲ行ハシムル號令及動作ハ如何
- 四、中隊ヲ以テ方陣ヲ作ルニハ如何ナル號令ト動作トヲ用フルカ
- 五、前哨トハ如何ナル名稱ナルカ又其ノ勤務ノ種類ハ如何

明治二十六年高等小學校本科准教員檢定試験問題

修身科

- 一、明治廿三年ニ下シ賜ヒ教育ニ關スル勅語ノ全文ヲ讀ミテ書スヘシ
 - 二、國君ニ對スル義務即忠道ヲ述ヘヨ
 - 三、孝ハ徳ノ本ナリ教ノヨリテ生スル所ナリ
 - 四、子曰ク君子ハ言ニ訥ニシテ行ニ敏ナラシムルヲ欲ス
 - 五、子曰ク己ニヌルカナ吾能ク其ノ過ヲ見テ内ニ自ラ認フル者ヲ見サルナリ
- 終ノ三題ハ意義ヲ詳解シ且各自ノ意見ヲ述ベヨ

教育科

- 一、教育ノ初ニ於テハ官能ヲ發達セシムベシト云フ理由ヲ詳説セヨ
- 二、時間圖ヲ調製スルニ就キ注意スベキ件ヲ問フ
- 三、歴史科ノ徳性涵養ノ方便トシテ價值アル所以ヲ述ヘヨ

- 四、地理科教授上地圖ノ必要及其ノ用法ヲ述ヘヨ
- 五、圖書科ト作文科ト連絡ヲ有セシムヘキ方法ヲ述ヘヨ
- 六、初級テ分數ノ觀念ヲ與フル教授ノ順序方法ヲ説ケ

國語科〔文法〕

- 一、左ノ漢字ノ訓ヲ假字ニテ記シ
- 二、形容詞ノ活用ニ幾種アルカ例ヲ以テ示セ
- 三、左ノ詞ハイカナル詞ノ下ニ付クヘキカ例ヲ舉ケテ示セ
つ き ら ん ち ん む り け ん
- 四、裂ノ字ヲハイカニ活用セハ自體詞トナリ他動詞トナルヘキカ例ヲ以テ示セ
- 五、左ノ文ヲ解剖シテ一々文法ノ名ヲ附セヨ
自暴自棄なる人は八面獸心とて顔は人のかほなれども心は獸の心なり志を起
て惡しき事を改むるならばなとか善き人にならざらん

國語科〔作文〕

- 一、學問ノ進歩ハ問斷ナキニアリ (漢字交リ文)
- 二、友人ニ與ヘテ實業ニ從事セシムルヲ勸ムル文 (書牘文)

漢文科〔讀講〕

備前國有富民兄弟爭家費者黨各百餘人獄官推訊累年不能斷熊澤助八代爲獄官乃兄弟二人同坐一堂時冬日嚴寒置一大爐于堂中央終日無所問及日暮出盤飧令二人並喫如此者三日而助八每隔屏障而坐命其二兒執事膝下二兒友愛如壘如堦暗令二人聽之二人心曉其譖也愧心自然縈胸初二人入堂各分坐一偏至是相謂寒甚可近火邊既近不覺相與執手號哭宿怨頓消乃退告黨拔止訟云

算術科(珠算)

- 一、六千五百六十七二千二百八十三ヲ乘スレバ其ノ積如何
- 二、拾一万二千九百六拾六個五分六厘一毛六糸ヲ五十二個四分八厘四毛ヲ以テ除スレバ其ノ商如何
- 三、廿七時四時四十九分ハ一時四十五分二十四秒ノ幾倍ナルカ

算術科(筆算)

- 一、四十五里三十一町ノ道ヲ行クニ次日ニハ初日行キシ殘ノ半ヲ行キ第三日ニハ拾里八町ヲ行キテ到着セリ初日ニ行キシ里程ヲ問フ
- 二、穀商アリ金若干ヲ懷ニシ市場ニ行キ米二石五斗ヲ買ハントセシニ六十二錢五厘不足シ又麥三石二斗ヲ買ハントセシニ三十錢不足セリ然ルニ此ノ米一斗ノ價ハ麥一斗ノ價ヨリ十五錢高ト云フ米麥一斗ノ價各如何
- 三、縮緬及袖係若干反アリ其ノ一反ノ價縮緬ハ四圓ニシテ袖ハ縮緬ノ八分ノ三ナリ

又縮緬ノ給反數ノ五分ノ一ノ價ト袖四十反ノ價ヲ比較スレバ縮緬ハ八圓丈安ト云フ縮緬ノ反數ヲ問フ

- 四、若干金ヲ甲乙丙三人ニ分クニ甲ハ乙ヨリ七十圓多ク又甲ト乙トハ五ト三トノ比ニシテ乙ノ五倍ハ丙ノ七倍ニ當ルト云フ各ノ得分如何
- 五、甲乙二組ノ工夫アリ甲四人ノ業ヲ乙五人ノ業ニ等シ今甲九人乙七人共ニ某事ヲナスニ毎日十時ツ、執業セハ二十四日ニ成功スヘシト云フ今甲上二人ヲ減シ乙上八人ヲ増シテ毎日十二時ツ、執業シ前業ノ二倍半ニ當ル業ヲナサントス幾日ヲ要スヘキカ
- 六、玄米二百五十石ヲ買入レ運賃一石毎ニ十五錢ヲ拂。之ヲ一割一分耗ニ替キテ精米トシ一石九圓二十三錢ツ、ニ賣リシニ十二圓五十錢ヲ損失セリト云フ一石ノ價如何

簿記科

- 一、貸借ノ意義ヲ明ニセヨ
- 二、單式簿記法ニ於テ一般ニ用フル處ノ帳簿及表ノ種類ヲ舉ケ且其ノ功用ヲ説明セヨ
- 三、左ノ如キ取引アリ之ヲ單式簿記法ニヨリテ日記帳及現金出入帳ニ記入セヨ
明治二十六年七月一日

大坂屋坂三ヨリ縮緬三十疋ヲ一疋ニ付十八圓替ニテ掛ニテ買入ル

全二日 京屋東吉ニ博多男帯地五十筋ヲ一筋ニ付五圓五十錢替ニテ掛ニテ賣渡ス

全三日 豊前屋豊吉ニ縮緬二十疋ヲ一疋ニ付二十圓替ニテ現金ニテ賣渡ス

全四日 肥前屋長太郎ヨリ木綿織浴衣地二百五十端ヲ一端ニ付キ六十五錢替ニテ現金ニテ買入ル

全五日 豊前屋豊吉ヨリ小倉織男帯地三百六十筋ヲ一筋ニ付八十五錢替ニテ現金ニテ買入ル

全六日 大坂屋坂三ニ博多男帯地三十五筋ヲ一筋ニ付六圓替ニテ掛ニテ賣渡ス

地理科

一、九州ノ零國ヲ括キ國界線及有名ナル山川、都會ヲ記入セ

二、我が國本土ニ於ケル平原ノ位置ヲ記セ

三、左ノ位置ヲ問フ

淺間嶽 白山 温泉嶽 霞ヶ浦 猪苗代湖 観音崎 金華山

舞鶴港 三角港 由良港 酒田港 小樽港 米澤市 敦賀港

鹽竈町 唐津港 松江市 伊香保温泉 生野銀山 平戸島

四、左ノ諸國ノ主要物産及首府ノ名稱位置ヲ問フ

亞米利加合衆國 獨逸 瑞西 印度 布哇

五、左ノ位置ヲ問フ

ウラル山脈 コロン山脈 黒海 コンゴウ河 ライン河 ア

マプン河 喜望峰 パナマ地峽 シブアルタル海峽 ナイヤガラ

瀑布 ゴロ沙漠 カムサッカ半島 スマタラ島 ベンガル灣

カゴ府 ヴィンナ府 シンカポール港 シドニー府 ヒラブル

六、夏時沿海地方ニ於テ夕風ノ起ル理由ハ如何

歴史科

一、崇神垂仁景行成務四帝ノ政績ヲ記セ

二、上古支那留學生ノ功績ヲ記セ

三、坂上田村麿傳ヲ記セ

四、鎌倉幕府制度ノ大要ヲ問フ

五、王政維新ヲ催セシ主要ナル原因ヲ問フ

博物科

- 一、食物中ノ滋養分カ血液中ニ混入スル順序ヲ記セ
- 二、腦ノ位置構造及區分ヲ記セ
- 三、鯨ノ魚類ニアラサルヲ説明セヨ
- 四、六脚蟲ノ形体ヲ記セ
- 五、單子葉植物ト双子葉植物トノ差異ヲ問フ
- 六、根ノ形状及効用ハ如何
- 七、礦物ノ人生ニ於ケル効用ヲ説ケ
- 八、石灰石ノ性質ヲ記載セヨ

物理科

- 一、水中ニ溶解セ、且水ヨリ重キ固体ノ比重ヲ計算スル方法如何
- 二、吸上ポンプノ水ヲ吸上クル理由ヲ説明セヨ
- 三、水深ケレハ容易ニ水底ヲテ氷結セヤル理由ヲ述ヘヨ
- 四、光ノ反射ヲ實驗ス、簡單ナル方法ヲ記セ
- 五、摩擦電氣機ヲ用ヒテ電氣ヲ起シ、之ノ準備ヲ詳ニセヨ

化學科

- 一、燃燒トハ如何之ヲ例解セヨ
- 二、水ノ性質ヲ記述セヨ
- 三、酸トハ如何ナルモノヲ云フカ其ノ性質ヲ記セ
- 四、真鍮、青銅、洋銀、アルミ、銅ハ各如何ナル金屬ノ合金ナルカ
- 五、有機物ト無機物トノ區別ヲ舉ケ各五種以上ノ例ヲ示セ

習字科

疏影橫斜水清淺暗香浮動月黃昏

右楷書

豫て願上置候菊苗只今植付致度候間兩三種御惠投下さるべく候

右行草書各体

圖畫科

- 一、任意ノ縮圖尺ヲ作ル法如何
- 二、與ヘラレタルニツノ圓ノ内一ツノ圓周中既定ノ一點ニ觸レ又他ノ圓周ニ觸ル、圓形ヲ畫ク法如何
- 三、圓形内ニ任意ノ等邊形ヲ畫ク法如何
- 四、一邊及反對角線ヲ知リテ長方形ヲ畫ク法如何
- 五、地圖ノ景色

體操科 (技術)

- 一、體操術第十一、十二、十三、十四、十五節
- 二、體操術第一節ヨリ第十六節ニ至ル
- 三、柔體操第一教第一、二、三、運動及第二教第三四運動

體操科 (問題)

- 一、逐步及駢歩ニ於ケル足踏ノ方法ヲ説明セヨ
- 二、四列側面行進中尚其ノ方向ニ二列横隊ヲ作ルニ必要ナル號令及動作ハ如何
- 三、擔ハ銃ノ方法ヲ説明セヨ

明治二十六年高等小學校專科准教員檢定試驗問題

農業科

- 一、土壤ノ肥瘠ト其ノ器械的性狀トノ關係ハ如何
- 二、灌溉水ニハ如何ナル水ヲ適當トナスカ又灌溉ノ效能ヲ記セ
- 三、耕耘ノ目的ヲ記セ
- 四、肥料ノ施用量ヲ定ムルニハ如何ナル諸條件ニヨルヘキカ
- 五、磷酸質肥料ノ效能ヲ問フ
- 六、稻及小麥ノ種子選擇法ト其ノ栽培中注意スヘキ諸條件ヲ列舉セヨ

七、桑樹ノ植付法ト施肥法トヲ述ベヨ又桑ノ盛ニ成木セシ時ハ一段歩ヨリ幾許ノ葉ヲ産スルカ

八、勞動家者ニ要スル飼料成分ヲ舉ケテ其ノ理由ヲ示セ

九、露ノ上縁法ヲ記シ其ノ際避クヘキ條件ヲ舉ケヨ

- 一〇、左ノ問題口頭ヲ以テ試驗ス
 - 一、米及裸麥ノ一段歩ノ收穫量
 - 二、蠶繭一枚ヲ飼養スルニ要スル桑量
 - 三、田畝各一段歩ヨリ収入メル利益
 - 四、麥作ノ後ヨリハ秋作ノ後ニ稻ヲ植エテ收穫多キ理由
 - 五、牛馬糞ノ效能ノ優劣
 - 六、害蟲發生ノ原因
 - 七、牛馬年齡ノ鑒定法

明治二十六年高等小學校專科准教員檢定試驗問題

裁縫科

- 一、巾一尺九寸五分ノ片面ノ表きれ八尺ト抄しん裏きれ用ノ並木綿巾九尺四寸ノきれヲ以テ左ノ寸法ニ從ヒ袷羽織ヲ裁縫ス

但身丈ハ二重ニ入レたもとは九ニ袖幅ハ皆ツクヘシ

仕立上寸法左ノ如シ

一身丈 一尺九寸

一後巾 六寸五分

一前巾 四寸

一袖丈 一尺三寸

一袖巾 八寸

一袖口 五寸

一脇入巾 一寸三分

一ひも附 六寸五分

一えり巾 一寸五分

一えりあけ 二寸

二、並木綿巾一丈一尺五寸ノきれヲ以テ左ノ寸法ニ從ヒ五六釐着ノ袴ヲ裁縫スヘシ

仕立上寸法左ノ如シ

一、ひも下 一尺三寸五分

右ノ外ノ寸法ハ各自適宜ニキムヘシ

三、表きれ絹裏きれもみヲ以テ左ノ寸法ニ從ヒ綿入ノ袖襷ヲ縫フヘシ

但たもとは九ニスヘシ

袖 仕立上寸法次ノ如シ

一袖口 四寸五分

襷 仕立上寸法次ノ如シ

一、おくび巾 四寸

三、ふき 一寸

明治廿六年尋常小學校本科准教員檢定試験問題

修身科

- 一、身體髪膚之ヲ父母ニ受ケ敢テ毀傷ヒサルハ孝ノ始ナリ身ヲ立テ道ヲ行ヒ名ヲ後世ニ舉ケ以テ父母ヲ顯スハ孝ノ終ナリ
- 二、子曰ク先ニ其ノ言ヲ行ヒテ後之ニ從フ
- 三、子曰ク故ヲ温キテ新ヲ知ル以テ師ト爲ルヘシ
- 右三題ハ意義ヲ詳解シ且各自ノ意見ヲ述ブヘシ
- 四、兄弟間ノ義務即友道ヲ述ベ
- 五、職勇ノ徳ヲ述ブヘシ

教育科

- 一、教授ハ變化アルヘシトハ如何ナルコトヲ謂フカ之ヲ詳解セヨ
- 二、修身教授ノ効能ヲ全ウセシガ爲ニ教師ノ務ムベキ事件ノ概要ヲ述ヘヨ
- 三、讀本教授ノ方法ヲ觀キ且其ノ教授上注意スヘキ要件ヲ問フ
- 四、讀書科ト作文科ト連絡ヲ有セシムヘキ方法ヲ述ヘヨ
- 五、九以下ノ數ノ範圍内ニ總ケル加減乗除ヲ教授スル順序ヲ示セ

國語科 (作文)

- 一、小事ヲ撰ム
- 二、水泳練習ニ友人ヲ誘フ文

國語科 (讀講)

漢華ニ夫癡ヲ共ニ任メル者アリケリ夫惡疾ニ罹リケルニ妻之ニ事フルコト甚謹メリ夫不便ニ思ヒテ他ニ適カンコトヲ勸ムレトモ妻肯ナハズ一日屋後ニユキテ其ノ壁腰ヲミルニ杉皮ヲ以テ蔽ヘル裏ニ一ノ蠅蟻アリ釘ニ貫カレテ猶蠢メリコハイカナル故ニカト怪ミテ數々驗視スルニ時々往來シテ之ニ嘯ム雌ノアリテカクハ久シク死ナサシルナリケリ妻是ニ觀テ悽然トシテ夫ニ告ケテイヘラク蟲等スヲ其ノ體ヲ護ルコト此ノ如シマシテ人ニ於テヲヤ良人ノ未死ナレサルニ妻何タニカユダヘキト云フキ猶心ニ安カラズ思フヲ速ニ死ナレト計リ河豚ハヨク人ヲ殺ス者トキ、ヤガテ買ヒキテ之ヲ食シシニ血ヲ吐クヲ數升ニシテテノ疾トミニ愈エ身ヲ終ルマテ夫婦ノ道ヲ全ク

レケリトツ

算術科 (珠算)

- 一、八百四十九ト七千三百五十六トノ積ヲ八百方五千四百減スレハ其ノ殘數如何
- 二、金一千五百七十八圓九拾一錢四厘ト三百六圓四十二錢二厘トノ和ヲ七千四百八ヲ以テ乘除シタル積及商如何

算術科 (筆算)

- 一、一俵ニ付三圓六十錢ノ米百二十俵ヲ買。之ヲ一石ニ付八圓三拾錢ニ賣ルトキハ其ノ利益金額幾何ナルカ
- 二、或ル學校ニ於テ優等生ニ賞品ヲ與ヘシトスルニ若一人ニ一枚二錢一厘ツ、ノ書紙四枚ツ、ヲ與フルトキハ一枚三錢ノ書學紙三枚ツ、ヲ與フルヨリ三十三錢六厘幾價ニテ與フルヲ得ルニヨリ終ニ二錢一厘ノ書學紙四枚ツ、ヲ與フルコトニ決シタルト云フ依リテ問テ賞品ヲ受ケル生徒ノ總數及其ノ費用如何
- 三、脚夫アリ甲地ヨリ乙地ニ行クニ毎時三里ト五分ノ一ヲ步行シ十二時間ニシテ全道程ノ三分ノ一ヲ行ケリト云フ甲乙兩地ノ距離如何
- 四、麥畑アリ其ノ七分四ヲ刈リ取リシニ六俵ト二分四升アリ尚其ノ殘ヲ刈リ取リテ

五、後ヲ得ケリト云フ問フ一儀ニハ幾升ヲ入レシメテ
 五、男五人ニテモ又女十人ニテモ毎日十六時間宛勤ケル三日二分ノ一ニテ一町二反
 五畝ノ田ヲ耕シ終ルト云フ然レハ今男二人ト女十四人ト合力シテ毎日十二時間
 宛勤キ一町五反ノ田ヲ耕シ終ルニハ幾日ヲ要スルカ

地理科

- 一、大分縣ノ零圖ヲ描キ著名ナル山川及郡邑ヲ記入セヨ
- 二、九州本島ノ山嶽及平原ノ位置ヲ記セヨ
- 三、左ノ位置ヲ問フ
 立山 琵琶湖 利根川 速吸海峡 横須賀港 青森町 宇和島町
 和歌山市 下ノ關港 多度津港
- 四、師團及開港場ノ所在地名及其ノ位置ヲ問フ
- 五、左ノ諸物産ノ著名ナル地名ヲ舉ケヨ
 漆器 陶器 生糸 織物 茶

歴史科

- 一、三韓ノ内屬ハ我カ國文物ノ進歩ニ如何ナル影響ヲ及シ、カ
- 二、奈良朝時代ニ於ケル佛法ノ勢力ノ狀ヲ記セ
- 三、承久ノ亂ノ顛末ヲ述ヘヨ

- 四、豐臣秀吉征韓ノ結果ヲ問フ
- 五、徳川家光ノ耶蘇教ニ對スル政略ヲ記セ

習字科

不雨山長潤無雲水自臨

右楷書

暑氣御訪問ととて見事なる梨子御惠贈下され悉く存候

右行草各体

体操科 (技術)

- 一、矯正術第六七八九節及十三節
- 二、第二徒手体操第一節ヨリ第十五節ニ至ル

体操科 (問題)

- 一、横隊行進中注意スベキ件ヲ列舉セヨ
- 二、行進間ノ右轉回ハ何レノ足ニ付如何ナル号令ヲ下スカ又其ノ動作ヲ詳述セヨ
- 三、普通体操ヲナスニ必要ナル分列ヲ作ルニハ如何ナル順序方法ヲ用フルカ

裁縫科

- 一、さざなみ六尺ヲ以て左ノ寸法ニ従ヒ一ツ身ノ單物ヲ裁縫スヘシ

但此も亦ハ九ニスヘシ
准立上寸法次ノ如シ

- 一、身丈 一尺四寸
- 一、袖丈 七寸
- 一、袖口 三寸
- 右ノ外ノ寸法ハ各自適宜ニキムヘシ
- 二、白木綿ヲ以テ左ノ寸法ニ從。拾ノ襷ヲ縫フヘシ
- 任立上ノ寸法次ノ如シ
- 一、おくび巾 四寸
- 一、よき 二分

明治二十六年大分縣尋常師範學校入學試驗問題

修身科

- 一、父母ニ對スル義務ヲ述ヘヨ
- 二、國君ニ對スル義務ヲ述ヘヨ
- 三、兵役ノ義務ヲ述ヘヨ
- 四、學問ヲ修ムル旨ニ勵ムル行ニ敏ナラシムル欲ス

右ノ意義ヲ解シ各自ノ意見ヲ附シ

教育科

- 一、活潑兒童ヲ天性ナリ其ノ活動ヲ抑制スル事ナク善良ノ習慣ヲ養成スヘシ
- 右ノ意義ヲ詳解シヘシ
- 二、團體教授法ヲ詳解シ與ヘヨ
- 三、左ノ疑問ハ何故ニ不可ナルカ
- 同一疑問ヲ反覆スル

諸君ハ爾ヲ以テ答フヘキ疑問ヲ覆スル

- 四、修身教授上注意スルべき事項ヲ述ベヨ
- 五、算術科教授ノ目的ハ如何

國語科 (作文)

- 一、事ヲ勉強ニ志スル
- 二、窮冬他鄉ニ在リテ父母ノ安否ヲ問フ文

國語科 (讀講)

一、大津一敷奇アリ道觀ト曰フ種メテ貧寒家ニ一鍋三足ニシテ隊アル者ヲ時フ
 レテ手取鍋ト曰フ毎ニ松毬ヲ燒キ薪トナス泉ヲ湘セテ茶湯ヲ作り或ハ骨董飯ヲ
 煮テ晨夕ニ充テ秀吉聞キテ之ヲ奇トシ將ニ月俸ヲ給セントス道觀固辭シテ曰ク
 貧賤茶湯ヲ嗜ム外求ムル所ナシ一トモ虚實ヲ仰テ下キハ必閑曠ナラス其ノ富
 貴志ヲ屈ロシヨリ貧ニシテ死ヲ待ツニ如カサルナリト秀吉其ノ志ヲ奪ハス大
 津ノ驛馬京師ニ往來ス所著ヲ點シ其ノ什一ヲ征シテ生活ニ資セシム道觀又之ヲ
 辭セントス或人勸メテ之ヲ受ケシム是ニ輪テ杓ヲ窓外ニ出シ馬一匹毎ニ錢一文
 ヲ収ム杓ニ盈ツレハ之ヲ納メ錢未盡キサレハ杓ヲ出サス尽クルニ及ヒ之ヲ出ス
 靴ヲ以テ帶トス

二、皆川洪國一室ニ匡坐ス門生奉テ業ヲ受ク或ハ客ト語ル未嘗ヲ坐ヲ移サス人退ケ
 公案ニ對テ書ヲ讀ム是ヲ以テ奴婢其ノ室ヲ拂フニ毎ニ其席ニ及ブコトナレ一日
 其ノ在ラサルヲ伺ヒ鼠皮ヲ除キテ之ヲ視レハ厚層拗窠黧黒ナリ困リテ之ヲ徹ス
 以ハ林已ニ腐レテ其ノ勤勉ナルニ此ニ類セリ

算術科

一、人アリ龍谷山頂マテ三里ヲ跋路ヲ登ラントシテ出發シ二時四十分間行キント
 所用アリテ立チ戻リ又直ニ前歸ニ就キンニ最初出發ヨリ十時間ニシテ山
 頂ニ達スリト云ク其ノ山ニ時間ノ行程如何

但降ノ速サハ登ノ二倍大ナルト云フ

二、三人ノ姉妹絹ヲ織ルニ各毎日織成ス所ヲ檢スルニ次女ハ姉ト妹トノ平均ヨリ四
 寸多ク長女ハ末女ノ二倍ナリ而シテ五日間ニ五丈六尺ヲ織成セリト云フ各女毎
 日幾尺ヲ織リタルカ

本題ハ算式ノ説明ヲ要ス

三、商人アリ一時ニ若干ノ利益金ヲ得其ノ十五分ノ四ヲ以テ負債ヲ償却シ其ノ殘餘
 ノ三拾三分ノ二十三ヲ他ニ貸與セシム其ノ殘金尙三百六十圓アリト云フ問フ其
 ノ負債ハ幾圓ナリシカ

四、商人アリ米百四十五石ヲ有ス其ノ内若干石ヲ石代四圓二十錢ヲ以テ賣却シ其ノ
 代價金ヲ以テ石代五圓四十錢ノ米ヲ買ヒシメ初メ殘米ト共ニ百二十九石トナレ
 リ其ノ賣リシ米ハ何石ナリシカ

本題ハ算式ノ説明ヲ要ス

五、農夫アリ等シキ地ニ小麥ト大麥トヲ試作シ小麥ハ四斗大麥ハ四斗八升ヲ得
 今此地ノ割合ニテ二反ニ畝十五步ノ地ニ小麥ヲ作り七石一斗五升ヲ得タリト
 スレハ四反五畝ノ地ニ大麥ヲ作ラハ幾何ヲ得ヘキカ

六、三人ノ工匠アリ毎日甲ハ八時乙ハ九時丙ハ十時ト、働タ時ハ等シキ日給ヲ得ヘ
 然ルニ毎日就業ノ時間ヲ等シタシ甲四日乙六日丙十五日間働キニ其ノ賃

金谷等拾遺圖二十餘種ヲ得テリト云フ問テ各匠ノ所傳幾何ナリヤ

歴史科

- 一、熊襲及蝦夷ノ叛服ノ狀況ヲ記セ
- 二、藤原氏が政權ヲ擅ニスルニ至リシ由來ヲ記セ
- 三、徳川氏ノ末世鹿兒島及下ノ關ニ於テ起リシ外國關係事件ノ顛末ヲ記セ
- 四、徳川氏以前ノ文學ノ沿革ヲ畧記セヨ
- 五、左ニ掲グルル人々ノ時代及其ノ重ナル事蹟ヲ問フ
松平信綱。北畠顯家。林子平。僧榮西。

地理科

- 一、大分縣ノ地勢ヲ記シ併セテ縣下ノ著名ナル山川ノ名稱ヲ列舉セヨ
- 二、九州本島ヲ圍繞セル重ナル島嶼ノ名稱及其ノ位置ヲ記セ
- 三、本縣下大分港ヲ發シテヨリ大坂ニ至ルマデ瀬戸内海ノ重ナル港名及海灣ノ名稱ト其ノ位置トヲ問フ
- 四、本邦ニ於テ著名ナル温泉場ノ名稱及其ノ位置ヲ記セ
- 五、石狩川、天塩川、北上川、信濃川、利根川、天竜川、木曾川、吉野川、四万七川、筑後川、右諸川ノ水源及其ノ貫流セル處ノ國名ヲ記セ

習字科

真馬不在毛翁士在其處
右横行直三行

圖畫科

文部省編小學習書帖第六編第二十回及第二十八回

明治二十六年大分縣尋常師範學校講習科入學試驗問題

修身科

- 一、子曰ク人ノ已ラ知ラサルヲ思ヘス人ヲ知ラサルヲ思フルナリ
 - 二、子曰ク賢ヲ見テハ齊シカラント思フ。不賢ヲ見テハ内ニ自ラ省ルナリ
 - 三、子曰ク故ヲ知ラズテ新ヲ知ル以テ師ト爲ルヘシ
右ノ三題ノ意義ヲ解シ各自ノ意見ヲ述ベヨ
 - 四、兄弟姉妹ニ對スル義務ヲ述ベヨ
 - 五、他人ノ名譽ニ對スル正義ノ義務ヲ述ベヨ
- 國語科 (作文)
- 友ヲ撰フ必要
- (漢字交リ文)

二、講習科ニ入學ヲ願ムル文

國語科 (讀講)

一、福島正則實ノ東照公ニ謂フテ曰ク井伊本多輝原三傑士ノ名天下聞キテ之ヲ畏レサルナシ向ニ公家干城ノ臣ナリ公曰ク吾カ家ノ勇士頗多シ今此三士ヲ併セテ十人ト爲スト論者曰ク公十士ヲ舉ケテ明ニ其ノ誰タルヲ指サス暗ニ人ヲレテ皆刀ヲ陳ヘ其ノ列ニ就カシム英雄ノ一語士心ヲ破舞スト謂フ可シ

二、大猷公嘗テ瀕海殿ニ遊フ試ニ有司ヲシテ楸ヲ折フシム皆又書ヲ執リ以テ之ヲ斷ス判詞的確各畏レテ退ク人感歎スレトモ公嘗シト稱セシ他日侍臣事ニ因リテ之ヲ問フ公曰ク大氏ノ訟里八間ニ居リ講解スル能ハス己ムヲ得スシテ之ヲ官ニ訴フ其ノ理ヲ辨シ寛ヲ釋カシムコトヲ冀フナリ前日見ル所其文書ヲ以テ斷ヲナスカ如キハ一里正テ足レリ何ソ必シモ官裁ヲ煩ワシ恐クハ其ノ理ヲ陷レ屈ヲ受ルル多カラシ宜シク探ク之ヲ思フヘント此縣三仁明ノ實訓凡案牘ノ寄ニ居ルモノ謹テテ服膺セサル可ラサルナリ

教育科

一、親身ヲ先ニシテ言語ヲ後ニスヘント云フ原則ヲ實例ヲ舉ケテ説明セヨ

二、修身談話ニ於テ惡例ヲ避クヘキ理由ヲ詳解セヨ

三、算術ノ問題ヲ探擇スルニ就テ注意スヘキ條件ヲ問フ

四、習字教授ノ目的ヲ述ベヨ

五、教授中間答ヲ加フルハ如何ナル理由ナルカ

算術科

一、吳麻商アリ縮緬若干尺ヲ有ス今之ヲ十四尺四寸ニ付三圓六十錢ノ割ニ賣ルトキハ拾貳圓五拾錢ヲ利スヘク又三十六尺ニ付七圓八十三錢ノ割ニ賣ルトキハ三圓七十五錢ヲ損スヘント云フ一尺ノ原價如何

二、雞卵商アリ雞卵四個ニ付三錢五厘ニ買ロ之ヲ二個ニ付二錢二厘五毛ニ賣リテ利金一圓五十五錢七厘五毛ヲ得ヌリ今此ノ得金悉皆ヲ以テ前ノ買價ニテ雞卵ヲ買ヒ之ヲ前賣價ニテ賣ルトキハ利金幾何前ヨリ幾何多カルヘキカ又兩度ニ買ヒシ雞卵ノ數各如何

三、脚夫アリ甲市ヲ發シ乙市ニ行クニ先、二十里ヲ歩キ後一里ノ

$$\frac{10}{2} = \frac{1}{1} \quad \frac{1}{5} = \frac{1}{5}$$

倍ヲ歩

シテ尚乙市迄ハ全距離ノ

$$\frac{12}{14} = \frac{3}{7}$$

ヲ占メテ然ラハ全距離如何

四、金一千三百十五圓ヲ男七人女十二人ニ分配スルニ男一人ノ得分ハ女一人ノ得分ノ

$$\frac{1}{2}$$

倍ナリト云フ然ラハ各一人ノ得分如何

- 五、金一圓、米一斗五升、相場ナレトキハ酒一升ノ價二十四錢ナリ今米一圓ニ付三升下落スルトキハ酒三升ノ價如何
- 六、甲乙ノ地面アリ何レモ長形ニシテ其ノ二地ノ縦ノ比ハ十一ト八トノ如ク又横ノ比ハ九ト七トノ如ク而シテ其ノ面積ノ差ハ二百四十坪ニ合テリ此ノ各ノ坪數ヲ求ム

地理科

- 一、零圖ヲ描キテ我カ日本四大島ノ位置及形狀ヲ記シ左ノ都會ノ位置ヲ記入セヨ
東京 京都 大坂 廣島 横濱 名古屋 長崎 熊本 徳島 箱館
- 二、大分縣下ノ高山大河及温泉場ノ位置及名稱ヲ列記セヨ
- 三、四國及九州ノ有名ナル産地ヲ列記セヨ
- 四、左ノ物産ノ有名ナル産地ヲ列記セヨ
磁器 漆器 生糸 茶 堅魚節
- 五、左ノ海峡ヲ問フ
津輕海峡 早瀬海峡 友島海峡 津輕海峡 宗谷海峡

歴史科

- 一、三國ノ神代及其ノ傳來ヲ述ベヨ
- 二、三國ノ神代時及連陸與ノ概況ヲ記セ

- 三、南北朝ノ分立スルニ至リシ次第ヲ述ベヨ
- 四、織田信長ノ功績ヲ述ベヨ
- 五、徳川八代將軍吉宗ヲ以テ中興ノ祖ト仰フ所以ヲ詳述セヨ

習字科

芳章和煙暖更香閑門要路一時生
右楷行草三体各判紙一葉ニ書セシム

体操科

第一、徒手演習最初ヨリ第二十節マテ

明治廿七年大分縣尋常師範學校入學試驗問題

修身科

- 一、子曰ク苟ニ仁ニ志セバ惡シキヲ無キナリ
- 二、子曰ク人ノ過ハ各其ノ黨ニ於テス過ヲ觀テヨ、ニ仁ヲ知ル
- 三、子貢君子ヲ問フ子曰ク其ノ言ヲ行ヒテ後之ニ從フ
- 右三題ハ意義ヲ詳解スヘシ
- 四、國君ニ對スル義務即忠義ヲ述ベヨ

五、論議ノ意義ヲ解シ其ノ必要ナル所以ヲ述ヘヨ

教育科

- 一、兒童ヲ教育スルノ初ハ官能ヲ發達セシムルヲ務ムヘシ
右ノ趣意ヲ解釋セヨ
- 二、不明亮ナル問ト答旨ヲ含ミムル問トノ例ヲ舉ケ且其ノ不可ナル所以ヲ述ヘヨ
- 三、修身上職練ノ重要ナル所以ヲ述ヘヨ
- 四、作文教授ニ於ケル矯正文ノ教授方法ヲ述ヘヨ
- 五、暗算ノ効用ヲ述ヘヨ

國語科 (讀講)

- 一、後漢ノ仇覽字ハ李智陳留考城ノ人沛亭ノ長ト爲ル人ニ生業ヲ闢ム農事レハ子弟
ヲシテ學ニ就カシム劉鯉遊恣々者ハ皆役スルニ田桑ヲ以テス窮窮ヲ賑恤シ暮年
ニシテ化大ニ行ハル初到ルトキ陳元トイフ者アリ獨母ト居ル母覽ニ詣リ元カ不
孝ヲ咎ク覽親元ガ家ニ到リ其ノ母子ト飲ミ因テ爲ニ人倫孝行ヲ陳シ嘗スニ禍福
ノ言ヲ以テテカハ元卒ニ孝子トリヌ郷邑之カ譽ヲ爲シテ曰ク父母何ニカ在
ル我カ起ニ在リ我カ鳴鳥ヲ化シテ所生ニ哺セシムト時ニ考城ノ令王渙政嚴猛ヲ
尚ク覽カ徳ヲ以テ人ヲ化スト聞キ署シテ主簿ト爲シ謂ヒテ曰ク主簿陳元ノ過ヲ

聞キ罪セシメテ之ヲ化ス鷹鷂ノ志ヲ少ク無キヲ得ヤト覽曰ク以爲ラケ鷹鷂ハ
鷹鷂ニ若カス換謝シテ遣シテ曰ク枳棘ハ鸞鳳ノ棲ム所ニ非ス百里豈大賢ノ歸ナ
ランヤト奉ヲ以テ資トシ勉メテ大學ニ入ラシム

二、仲由字ハ子路孔子ニ見エテ曰ク重キヲ負ヒ遠キヲ涉レハ地ヲ釋ハスシテ休シ家
貧シノ親老シレバ祿ヲ擇ハスシテ仕フ昔魯ニ親ニ事フル時藜藿ノ實ヲ食ヒ親ノ
爲ニ米ヲ百里ノ外ニ負フ親沒スル後南楚ニ遊ヒ從車馬乘棺粟萬石齒ヲ累子テ坐
ト鼎ヲ列子テ食ス藜藿ヲ食シ親ノ爲ニ米ヲ負ヒト欲スレトモ得ハカラサルナリ
ト子曰ク由ヤ爾ニ事ソルニ牛事ニハ力ヲ盡シ死事ニハ思フ尽ス者ト謂フヘキナ
リ

作文科

- 一、洪水ノ記 (普通文)
- 二、人ニ與ヘテ其ノ子ノ就學ヲ勸ムル文 (書簡文)

算術科

一、甲乙丙ノ三人各若干金ヲ有セリ其ノ金員甲ハ乙ヨリ六拾錢多ク内ハ六圓六拾錢
ナリ若シ又丙ノ所持金ヲ甲ニ合セハ乙ノ四倍トナルヘシト云フ甲乙各ノ所持金

二、大小兩儲アリ大ハ壹升三合入小ハ九合入ナリ今此ノ各儲ニ上下兩酒ヲ別々ニ買ハントス若上酒ヲ大儲ニ下酒ヲ小儲ニ買ヘハ其ノ代金合キテ六拾一錢五厘アリ又下酒ヲ大儲ニ上酒ヲ小儲ニ買ヘハ其ノ代金合キテ五十九錢五厘ナリト云フ各一合ノ價如何

三、甲乙丙三人ノ職工一ノ仕事ヲ請負ヒ三日間ニ之ヲ成就シ賃金二圓八十錢ヲ請取レリ而シテ其ノ仕事ハ甲一人ノラハ七日乙一人ナラハ八日ニ成就スヘント云フ然レハ其ノ賃金ヲ各自ノ働ニ應シテ分ク寸ハ甲乙各幾何ヲ受クルカ

四、午前十時甲府發ノ瀛車午後七時十五分ニ乙府ニ到着セリ又午前六時十五分乙府發ノ瀛車午前十時三十分甲府ニ到着セリト云フ然レハ其ノ兩車ノ相會セシハ何時ナリシカ

五、或貿易商絹五十反木綿百七十五反ヲ買。代金トシテ金貨二百五圓ヲ拂ヘリ今全シ割合ニテ絹二百反木綿五百七十五反ヲ買入レシニ紙幣ニテ拂ヘリ問幾圓ヲ拂ルシカ
但各一反ノ價絹ト木綿トハ10³ニシテ金貨百圓ハ紙幣百三十三圓七十五錢ニ當ルト云フ

六、茶商アリ二種ノ茶ヲ有ス其ノ甲種ヲ一斤十八錢七厘五毛ノ割ニテ賣ルトキハ乙種ヲ一斤十七錢五厘ノ割ニ賣ルトキハ四割ヲ利スヘント云フ

フ今若此ノ二種ヲ同量ニ混和シテ一斤十八錢三分ノ一ノ割ニ賣ルトキハ幾割ノ利ヲ得ヘキヤ

地理科

- 一、大分縣ノ畧圖ヲ描キ郡界ヲ劃シ各郡役所所在地ト主ナル山川トヲ記入シ其ノ名稱ヲ附セヨ
- 二、關山ヨリ瀛車ニ乗込キ青森ニ至ル沿道ノ大ナル都會ヲ順次列舉セヨ又此ノ間ヲ直行スレハ何時間ヲ要スルカ
- 三、我カ帝國中茶陶器織物及生絲ノ著シキ產地ヲ記セ
- 四、九州沿岸ノ港灣岬角ノ主ナルモノ、名稱及其ノ位置ヲ記セ
- 五、八甲田山、那智山、隱吹山、笠嶺山、英彦山、筑波山、温泉岳、乘鞍嶽、霧島山、石鏡山ノ位置ヲ問フ

歴史科

- 一、武内宿禰ノ功績ヲ記セ
- 二、兵農相別ル、ニ至リシ次第ヲ述ヘヨ
- 三、鎌倉幕府政廳ノ組織ヲ説ケ
- 四、南北兩朝ノ合一スルニ至リシ事情ヲ記セ

五、島原ノ亂ノ顛末ヲ記セ

圖畫科

農家之望

右施影臨畫

習字科

江靜雨初収湖光滑似油

右楷行草三体

明治廿五年七月大分縣尋常中學校入學試驗問題

讀方科

上杉景勝豪邁而膽大ナリ其戰ニ臨ムヤ前隊既ニ戰ヲ交ヘ矢九雨下ニ呼聲大地ニ震フ
 景勝身猶幕中ニ臥シ鼙聲如雷其京師ニ朝スル一行鹵簿數十百人寂トシテ暖聲ヲ聞カ
 ス唯八馬ノ行聲蕭々然タルヲ覺ユルノミ富士川ヲ渡ルル人多船小中流殆ト欲シ沉景
 勝怒テ船頭ニ立チ暴鞭一揮ス衆皆躍テ水ニ入り游テ涉ル船乃チ岸ニ達スルヲ得タリ平
 素未タ嘗テ喜悅ノ色ヲ見ヌ家ニ所養胡孫アリ偶マ景勝ノ巾帽ヲ蒙リ走テ庭樹ニ升リ
 景勝ニ向テ照頭者ニ身勝始テ莞然タリト云

右文中圈點ノ箇所ヲ拙書シ傳條音訓及解釋ヲ下スベシ

作文科

梅雨ノ晴ルヲ喜ビ記

(漢字交リ文)

夏期休業にて遠隔の友人に歸省を促す文

(通俗文)

英語科

一、ナンヨナルリーダー第二ノ中

算術科

- 一、 $10.25 \times (1 - \frac{1}{7.33})$ ヲ最簡ニセヨ
- 二、 $(\frac{2}{5} + \frac{5}{60} - \frac{3}{2}) \div (\frac{1}{9} + \frac{12}{253} - \frac{44}{3})$ ト最簡ニセヨ
- 三、 $\frac{21}{24} \div 0.845 + 0.51 - \frac{17}{33}$ ヲ最簡ニセヨ
- 四、1260, 2016, 7850ノ最大公約數ヲ問フ
- 五、56, 72, 88, 74, 99ノ最小公倍數ヲ問フ
- 六、壹石ノ價三圓ノ麥三十六石ト一石ノ價五圓ノ大豆三十石ト有ス今此ノ兩穀ヲ

以テ壹石ノ價七圓ノ米ニ代シニハ壹石ノ米ヲ得ヘキカ
 七、甲乙二人共ニ働キテ前半月ノ終ニ金三十九圓ヲ得タルモ乙ノ就業日數ハ十二日
 ナリ後半月間ハ金三十三圓ヲ得テ乙ノ就業日數ハ九日ナリ由テ各一日ノ賃銀
 ヲ問フ

八、入學試験アリ志願人ノ三分ノ一ハ數學ニテ落第シ殘ノ六分ノ一ハ讀方及作文ニ
 テ落第シ殘ル所僅ニ百人アリト云フ志願ノ人員幾何

九、甲ハ一千二百圓乙ハ二千圓ノ元金ヲ出シ商ヲ營ミ利金八百圓ヲ得タリ而ルニ甲
 ハ勤勞セシカ故ニ全利ノ十分ノ一ヲ取り其ノ餘ヲ各元金ニ應シテ之ヲ分ツ各所
 得幾何

理科

- 一、礦物ノ硬度(堅度)ヲ計ルニ方リテ標準トナスヘキ金石類ヲ指名セヨ
- 二、黃金ハ通常如何ナル状態ニテ産出スルカ
- 三、如何ナル花ヲ完全花ト稱スルカ
- 四、稻ノ花ノ構造ヲ畧説セヨ
- 五、牛及羊ノ胃ノ特性ナル点ヲ畧説セヨ
- 六、左ニ掲グル動物ノ主眼ナル特性ヲ問フ
 (1)鳥類 (2)魚類

地理科

- 一、信濃川及淀川ノ流域及其ノ沿岸ノ名都邑ヲ問フ
- 二、吾々邦陶磁器ノ主産地及名稱ヲ問フ
- 三、吾々邦本州ニ於テ東西兩岸ニ於ケル氣候如 又其ノ差違ノ生スル原因ノ概容ヲ
 問フ
- 四、我が國ニ於テ太平洋日本海ニ瀕スル名港四宛及其國名ヲ問フ(但五港ヲ除ク)
- 五、東海東山道ニ跨ル最大ノ原野ニ及其ノ跨ル國ノ名ヲ問フ
- 六、淺間山、高野山、象頭山、筑波山、船上山、比叡山ノ位置及其著名ナル所以ヲ
 問フ

歴史科

- 一、水戸藩主光國高山彦九郎林子平ノ三人ハ如何ナル行爲ヲナセシカ
- 二、熊襲蝦夷ヲシテ復タ叛セシカヲシメタルハ誰ノ功ナリシヤ又平氏ヲ京師ヨリ追出
 シ又之ヲ亡ホシタルハ誰ノ力ナリシヤ
- 三、後三條天皇ノ政治ヲ記セヨ
- 四、源賴朝ノ採用セシ大江廣元ノ議ヲ記セヨ
- 五、明治元年ノ誓文ヲ記セヨ

習字科

山間之明月江上之清風

楷行二樣

圖書科

球 帶影ノ圖

七四

明治二十六年七月大分縣尋常中學校入學試驗問題

讀方科

謙信戰ニ臨ミ俄欲分部隊ヲ則チ單騎馳ヒテ其ノ中ニ入り馬行ノ過ル所左右ニ別レテ兩隊トナル是時ニ當リ從者彼レニ在ルモ主呼フコ能ハス主人此ニアルモ從者就クヲ得ス各自揮刀殊死戰フ每以妾有功ヲ信立將ニ戰ハントス必ス演習數回シテ申明約束ヲ共戰罷ムヤ則チ諸將ト勝敗ノ理ヲ論シ可ナル者ハ之ヲ賞シ不可ナル者ハ之ヲ戒ム故ニ每戰軍機漸熟シ遠以テ精勁無匹是レ亦以テ二家用兵ノ約畧ヲ了スヘシ

右文ニ圈點ヲ付ヒシ文字ヲ摘書シ各條右側ニ訓讀ヲ付シ下ニ義解ヲ記スヘシ

作文科

溫習會を催す文

水練記

英語科

(通俗文)
(漢字交り文)

ナシヨナリトター卷二ノ中

算術科

- 一、學生アリ一年即三百六十五日ノ中日暇日ヲ休業シテ一万二千五百廿枚ノ書ヲ讀ミキト云由テ問フ此ノ學生一日平均幾枚ツ、ヲ讀ミシカ
但一年ニ日曜日五十二日トス
- 二、菓實アリ其ノ數金テ小ナレモ十二宛或ハ十五宛又ハ十八宛分ルモ丁度剩餘ナシ此ノ菓實ノ總數如何
- 三、一商アリ雞卵若干個ヲ買ヒ入レ其ノ八分ノ三ト十二分ノ五トヲ賣リシニ尚三百六十個ヲ餘セリト云フ買ヒ入レシ處ノ雞卵幾何ナルカ
- 四、一年ノ真日數三百六十五日奇零二四ト九分ノ二ノ代ニ三百六十五日ト四分ノ一ヲ用フアルトキハ幾年ニシテ一日ノ差ヲ出スルカ
- 五、金二千六百圓ヲ一年五ヶ月間貸シタル利金百三十二圓六十錢ナリ然ラハ前ト全シ割合ニテ七千圓ヲ五ヶ月半貸シナハ利金幾何ヲ得ルカ

六

$$\begin{array}{r} 8 \\ \hline 2 \quad 2 \quad 2 \\ \hline 2 \quad 3 \quad 1 \\ \hline 2 \quad 2 \\ \hline 2 \quad 7 \\ \hline 3 \end{array}$$

七五

$$\begin{array}{r}
 5 \quad 3 \quad 1 \quad 8 \\
 \times 7 \quad 10 \quad 4 \quad 21 \\
 \hline
 2 \quad 9 \quad 5 \quad 2 \quad 1 \quad 8 \\
 \times 3 \quad 14 \quad 6 \quad 15 \\
 \hline
 15
 \end{array}$$

地理科

- 一、我が邦本州ノ南北兩岸地方ニ於ケル氣候ヲ比較シテ其ノ差異ノ生スル主ナル原因ヲ記スヘシ
- 二、本邦三大河ノ流域ト沿岸ノ名邑ヲ問フ
- 三、磐梯山 金剛山 天ノ橋立 嚴島 奈良 ノ位置並ニ其著名ナル所以ヲ問フ
- 四、本邦漆器類ノ主産地ヲ問フ
- 五、瀬戸内海ニ於ケル五ノ主ナル港ヲ問フ

歴史科

- 一、歴史ノ定義ヲ記セヨ
- 二、大岡忠相沈惟敏ハ何人ナリヤ
- 三、聖武天皇ノ事業ヲ記セヨ
- 四、北條泰時時頼ノ政治ヲ記セヨ

- 五、豊臣秀吉ニ攻メラレ若クハ亡ボサレシ人々ヲ舉ゲヨ
- 六、明治元年ノ御誓文ヲ記セヨ

圖畫科

大成普通圖學本 草花單形臨書

習字科

恭己每從儉清心常保真 楷行二体

明治廿六年大分縣中津中學校一年級入學試驗問題

讀書科

臣々木高綱近江ヨリ來リ謁ス賴朝問フテ曰ク臣女在近邊直從軍入京乎高綱對ヘテ曰ク臣如シ軍ニ從ハ、敢テ生ヲ期セス欲一見君訣別且奉指揮也馳スルコト三日ニシテ乃チ達ス臣唯一馬罷不可用故二期ニ後レテ此ニ在リト賴朝因テ之ニ謂ツテ曰ク女能爲我先登か与治平曰ク能セシ臣河上ニ居リ其ノ淺深ヲ識レリト是ニ於テ遂ニ池月ヲ出シ之ニ賜フ高綱感喜シ謝シテ曰ク君聞高綱未戰而死則不能先登也聞未死而戰則先登者高綱也ト拜舞シテ出ツ

右圖點ノ箇處ヲ描書シ其意義ヲ解釋スヘシ

作文科

- 一、觀月ノ記 (漢字交リ文)
- 二、友人ノ入學試験ニ及第シタルヲ賀スル文 (書 讀 文)

習字科

靜以修身儉以養身

右楷行各体ニ書セシム

地理科

- 一、東海道ノ四大川ヲ問フ
- 二、本邦中海ニ瀕セリル國名ヲ舉ケヨ
- 三、東山及山陽兩道ノ名港各四個所ヲ舉ケヨ
- 四、九州ノ噴火山四個ヲ記セ
- 五、本邦陶磁器ノ有名ナルモノ及其ノ産出國名ヲ問フ

算術科

- 一、 $(7+8)(7+2) + (7+3-2)$

$$\frac{2}{3} \times \frac{11}{12}$$

$$\frac{1}{18} \times \frac{5}{2}$$

- 三、甲乙二數アリ其ノ加ハ半分ハ八百ニシテ其ノ差ノ半分ハ二百ナリ甲乙ノ數ヲ問フ
- 四、或數ヲ七ニテ除シ之ニ三ヲ乘シ之ヲ又五ニテ除シ之ニ四十ヲ加フレハ百トナル或數ヲ問フ
- 五、或小兒其ノ所有ノ麻糸ノ二分の一ヲ失シ其ノ後三十間ヲ得タリ之ヲ其ノ初所有ノ糸ニ比スレハ五分ノ四ニ相當スト云フ其ノ初所有セシ糸ノ間數ヲ問フ
- 六、破産者アリ其ノ借財七千五百六十圓ニシテ其ノ金主ニ分配スヘキ身代ハ三千百圓ナリ今七百五十六圓ヲ貸シタル金主ハ幾何ノ金圓ヲ得ヘキカ

歴史科

- 一、飯豐青皇女ハ何故ニ攝政セシツ
- 二、大化改新ノ政治ヲ記セヨ
- 三、神武帝以來今日マテノ女帝ノ名ヲ記セヨ
- 四、明治元年ノ御誓文

五、備空海、北條早雲、貝原篤信(益軒)ノ三人ハ如何ナル人物ニシテ如何ナル事ヲナセンカ

博物科

- 一、生物ト礦物トノ區別ヲ示セ
- 二、結晶トハ如何ナル者ヲ
- 三、兩棲類トハ如何ナル者ヲ例ヲ以テ之ヲ示セ
- 四、牛ト馬トノ主要ナル區別ヲ記セヨ
- 五、根及葉ノ効用ヲ記セヨ
- 六、花ノ主要ナル部分ヲ舉ケヨ

英語科

一、ナシヨナルリーダー第一ノ二ノ中

明治二十六年大分縣農學校入學試驗問題

讀書科

敎師街義ノ或ル部分

作文科

- 一、教育ノ必要
 - 二、友人乃爾業を成する友
- (漢字交)
(日文)
(書櫃文)

物理學及化學科

- 一、物体ノ重心トハ如何
- 二、吸上唧筒ノ構造及其ノ原理ヲ零記セヨ
- 三、化學上元素及分子トハ如何ナルモノヲ云フヤ
- 四、化學的變化トハ如何ナルヲ云フヤ

地理科

- 一、大分縣管内ニ於テ著名ナル高山河川及瀉灣ノ名ヲ列舉セヨ
- 二、九州ニ於ケル人口一万以上ヲ有スル都市ノ名ヲ列舉セヨ
- 三、霧島山安蘇山盤梯山妙義山富士山淺間川白山英彦山ノ所在地ヲ問フ
- 四、本邦ニ於テ織物造ノ尤モ盛大ナル地(三ヶ所)及品名ヲ問フ

博物科

- 一、消化機管ノ主ナル部ノ名ヲ舉ケヨ
- 二、植物ノ葉及根ハ如何ナル作用ヲナスヤ
- 三、有機物ノ無機物トシテ區別スベキ主ナル數種ヲ舉ケヨ

算術科

- 一、矩形ノ畑アリ一邊ハ二十八間ニシテハ一邊ハ四十間ナリ其ノ廣サ何反何畝ナリ
- 二、一ノ畑アリ五人ニテ毎日十時間宛耕セハ七日ニテ終ルヘシ全七人ニテ毎日五時間宛耕セハ幾日ヲ要スヘキヤ

三、ト、四、ヲ簡單ナル式ニ化スヘシ

- 四、金五百十圓アリ之ヲ甲乙丙三人ニ分ツルニ甲ヨリ少ナキヲ甲ノ分ケ前ノ二割ナリ又丙ハ乙ヨリ少ナキヲ拾圓ナリト云フ三人ノ分ケ前各如何
- 五、或ル金五圓二百圓ヲ以テ馬若干頭ヲ買フニ其ノ内二十頭ハ牧場ニ放チ而シテ此ノ殘リノ四分ノ三ヲ原價ニテ賣リ金六百圓ヲ請取レリト問フ始メ何頭ノ馬ヲ買フコトヤ

○附 錄

○文部省令第十九號

明治二十三年(十月)勅令第二百十五號小學校令第五十五條ニ基キ小學校教員檢定等ニ關スル規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

明治二十四年十一月十七日

文部大臣伯爵 大木喬任

小學校教員檢定等ニ關スル規則

第一章 府縣ニ於ケル檢定等

第一條 小學校教員檢定委員ハ府縣官吏並尋常師範學校長及教員ヲ以テ組織シ府縣知事之ヲ命スヘシ

府縣知事ハ檢定委員中ニ就キ委員長ヲ命スヘシ

第二條 小學校教員檢定委員ハ此規則ニ依リ檢定ヲ行ヒ委員長ヨリ其成績ヲ府縣知事ニ具申スヘシ

第三條 府縣知事ハ前條ノ具申ニ依リ合格ト認ムル者ニ相當ノ免許狀ヲ授與スヘシ但第七條第七款ニ該當スル者ニ正教員免許狀ヲ授與スル場合ニハ豫メ文部大臣ノ認可ヲ經ヘシ

第四條 正教員ノ檢定ヲ請フ者ハ左ノ資格ヲ具フルコトヲ要ス

- 一 准教員ノ免許狀ヲ有シ一箇年以上公立小學校教員ノ職ニ在リシコト但第七條

第七條ニ應當スル者ハ此限ニ在ラス

二 年齢男子ハ二十年以上女子ハ十八年以上

三 身體健全

四 品行方正

第五條 准教員ノ檢定ヲ請フ者ハ左ノ資格ヲ具フルコトヲ要ス

一 年齢男子ハ十七年以上女子ハ十五年以上

二 身體健全

三 品行方正

第六條 檢定ハ之ヲ別チテ左ノ二種トス

甲種 認定

乙種 試験

第七條 甲種ノ檢定ハ左ニ掲クル者ニ限り之ヲ行フモノトシ第九條乃至第十二條ニ

掲グル科目及其程度ヲ参照シテ其學力及經歷ヲ調査スルモノトス但尋常小學校專

科教員ニ關スル檢定ハ之ヲ行ハス

一 高等師範學校女子高等師範學校又ハ尋常師範學校卒業生

二 他ノ府縣ニ於テ小學校教員免許狀ヲ受得シタル者

三 文部省直轄諸學校ニ於テ某科目ニ關シ特ニ教員ノ職ニ適スル教育ヲ受ケタル

卒業生

四 尋常師範學校尋常中學校高等女學校教員免許狀ヲ有スル者

五 従前ノ成規ニ依リ小學校教員免許狀又ハ小學校師範學科卒業證書ヲ受得シタル

者

六 准教員ノ免許狀ヲ有スル者ニシテ其有效期間満チタル者

七 其他學力履行等ニ關シ府縣知事ニ於テ特ニ適任ト認メタル者

第八條 乙種ノ檢定ハ學力ノ試験ヲ行フモノトス但尋常小學校專科教員ニ關スル檢

定ハ之ヲ行ハス

第九條 尋常小學校本科正教員ノ試験科目及其程度ハ左ノ如シ但圖書、音樂、體操

ノ一科目若クハ數科目ハ當分ニ之ヲ缺クコトヲ得又裁縫ハ女子ニ限ル

修身 人倫道德ノ要旨

教育 教授ノ原理學校管理ノ方法及實地授業

國語 尋常師範學校ノ程度ニ準ス

算術 尋常師範學校ノ程度ニ準ス

地理 日本地理外國地理ノ大要

歴史 日本歴史ノ大要

習字 楷書行書草書

圖書 自在圖法ノ大要

音樂 單音唱歌及樂器用法ノ大要

體操 普通體操及兵式體操(男子ニ限ル)

裁縫 通常衣服ノ縫方裁方

尋常小學校本科准教員ノ試験科目ハ前項ニ同シ其程度ハ府縣知事之ヲ定ムヘシ

第十條 高等小學校本科男教員ノ試験科目ハ修身、教育、國語、漢文、數學、簿記、地理、歷史、博物、物理、化學、習字、圖畫、音樂及體操トス但圖畫、音樂、體操ノ一科目若クハ數科目ハ當分之ヲ缺クコトヲ得

前項各科目ノ程度ハ正教員ニ關シテハ尋常師範學校ノ程度ニ準ス准教員ニ關シテハ府縣知事之ヲ定ムヘシ

第十一條 高等小學校本科女教員ノ試験科目ハ修身、教育、國語、數學、地理、歷史、理科、家事、習字、圖畫、音樂及體操トス但圖畫、音樂、體操ノ一科目若クハ數科目ハ當分之ヲ缺クコトヲ得

前項各科目ノ程度ハ正教員ニ關シテハ尋常師範學校ノ程度ニ準ス准教員ニ關シテハ府縣知事之ヲ定ムヘシ

第十二條 高等小學校專科教員ノ試験科目ハ圖書、音樂、體操、家事、手工、裁縫、農業

・商業、外國語ノ一科目若クハ數科目トス但何レノ科目ニ就キテモ授業法ヲ附帶シテ試験ヲ行フモノトス

前項各科目ノ程度ハ正教員ニ關シテハ尋常師範學校ニ於ケル程度ト同等以上トス准教員ニ關シテハ府縣知事之ヲ定ムヘシ

專科正教員ニ就キテハ讀書、習字及算術ニ關シ普通ノ學力ヲ有スル者ニ非サレハ試験ヲ行ハス

第十三條 左ニ掲グルル者ニシテ乙種ノ檢定ヲ請フ者ハ其學力ヲ第九條乃至第十二條ニ掲グルル科目及其程度ニ對照シ同等以上ト認ムルトキハ其一科目若クハ數科目ノ試験ヲ缺クコトヲ得

一 他ノ府縣ニ於テ小學校教員免許狀ヲ受得シタル者

二 文部省直轄諸學校ニ於テ某科目ニ關シ特ニ教員ノ職ニ適スル教育ヲ受ケタル卒業生

三 尋常師範學校尋常中學校高等女學校教員免許狀ヲ有スル者

四 從前ノ成規ニ依リ小學校教員免許狀又ハ小學師範學科卒業證書ヲ受得シタル者

五 准教員 免許狀ヲ有スル者ニシテ其有效期間満チタル者
六 中學校卒業生

七 文部大臣ニ於テ尋常中學校ノ學科程度ト同等以上ト認メタル學校ノ卒業生
第十四條 正教員ノ免許狀ハ其府縣限リ終身有效トス

准教員ノ免許狀ハ其府縣限リ有效トス其有效期間ハ七箇年以内ニ於テ府縣知事之ヲ定ムヘシ

第十五條 府縣知事ハ小學校教員候補者ノ名籍ヲ作り免許狀ヲ授與シタル者アル都度其氏名等ヲ之ニ登錄スヘシ

府縣知事ハ前項ノ登錄ヲ了リタルトキハ其氏名等ヲ管内ヘ告知スヘシ

第十六條 小學校教員免許狀ヲ有スル者現ニ教員ノ職ニ在ラサルモ免許狀ヲ褫奪セラルヘキ教員ト同様ノ行爲アルトキハ府縣知事其免許狀ヲ褫奪スヘシ此場合ニ於テハ其族籍氏名並事由ヲ具シテ文部大臣ニ開申スヘシ

第十七條 府縣知事ハ檢定ヲ請フ者及免許狀ヲ受ケル者ヲシテ相當ノ手数料ヲ納メシムルコトヲ得

第十八條 免許狀ノ書式ハ左ノ如シ但准教員免許狀ノ書式ハ府縣知事之ヲ定ムヘシ
師範學校卒業生ニ與フルモノ

小學校教員免許狀

何學校卒業生 族 氏籍 生年月 名

右ハ何府縣管内ニ於テ小學校本科正教員タルコトヲ免許ス

年 月 日 府縣知事位勳爵氏名印

番 號

小學校教員免許狀

何科目。何科目。 族 氏籍 生年月 名

何科目。、、、

右ハ前記ノ科目ニ就キ檢定シ何府縣管内ニ於テ(尋常)小學校本科(專科)正教員タルコトヲ免許ス

年 月 日 府縣知事位勳爵氏名印

番 號

師範學校卒業生ニ非サル者ニ與フルモノ

第十九條 本科教員免許狀ヲ有シテ圖書、音樂、體操、家事、手工、農業、商業、外國語ノ一科目若クハ數科目ヲ教授シ得ル者ハ專科目員タルコトヲ得ルモノトス

第二十條 此規則ニ關スル細則ハ府縣知事之ヲ定ムヘシ

第二章 文部省ニ於ケル檢定等
第二十一條 左ニ掲ケル者ハ府縣知事又文部省直轄學校長等ノ具申ニ基キ文部大臣之ヲ檢定シテ小學校教員普通免許狀ヲ授與ス

一 小學校正教員免許狀又ハ從前ノ成規ニ依リ小學校教員免許狀若クハ小學師範學科卒業證書ヲ受得シ五箇年以上公立小學校教員ノ職ニ在リテ品行方正ニシテ學備及授業超衆ノ者

二 高等師範學校又ハ女子高等師範學校卒業生ニシテ一箇年以上小學校教員ノ職ニ在リシ者

三 文部省直轄諸學校ニ於テ某科目ニ關シ特ニ教員ノ職ニ適スル教育ヲ受ケタル卒業生ニシテ一箇年以上小學校教員ノ職ニ在リシ者

小學校教員普通免許狀ハ全國ニ通シテ終身有效ノモノトス
第二十二條 第十六條及第十九條ノ規程ハ小學校教員普通免許狀ヲ有スル者ニ關シ之ヲ適用ス

第二十三條 小學校教員普通免許狀ノ書式ハ左ノ如シ
本科正教員ニ與フルモノ

小學校教員普通免許狀

族 籍 氏 名 生 年 月 日

右ハ全國ニ於テ小學校本科正教員タルコトヲ免許ス

年 月 日

番 號

文部大臣位勳爵氏名印

小學校教員普通免許狀

族 籍 氏 名 生 年 月 日

何科目、何科目。

右ハ前記ノ科目ニ就キ檢定シ全國ニ於テ小學校專任教員タルコトヲ免許ス

年 月 日

番 號

文部大臣位勳爵氏名印

○大分縣令第十九號

明治廿四年(十一月)文部省令第十九號第二十條ニ基キ小學校教員檢定等ニ關スル細則左ノ通相定ム

明治廿五年三月廿五日

大分縣知事 岩崎小二郎

小學校教員檢定等ニ關スル細則

第一章 檢定出願ノ手續

第一條 小學校教員檢定ヲ請フ者ハ願書ニ履歷書体格檢査書品行證明書及戶籍寫ヲ添ヘ郡役所ヲ經テ當廳ニ差出スヘシ

前項願書履歷書体格檢査書品行證明書ハ左ノ書式ニ依ルヘシ

書式

小學校教員檢定願

某縣本縣内ニ於テ尋常小學校本科正(准)教員志望ニ付甲種(乙種)檢定ノ上免許狀御授與被成下度別紙履歷書等相添此段相願儀也

大分縣何郡何町何番地居住(寄留)

何府縣華士族平民戶主(何誰幾男女等)

年月日

氏名 印

何年何ヶ月

大分縣知事宛

履歷書

何府縣何國何市何區町村何番地寄留者ハ本籍寄留
籍ヲ併記スヘシ
華士族平民戶主(誰幾男女等)

氏名

年月生

學業

一 何年月ヨリ何年月マテ何地官公立何學校ニ於テ何學科ヲ修業ス

一 何年月何地官公立何學校ニ於テ何學科ヲ卒業ス證書寫左ノ如シ

(卒業證書全文ヲ記載スヘシ)

一 何年月ヨリ何年月マテ何地何誰ニ就キ何學ヲ修業ス

業務

一 何年月ヨリ何年月マテ何業ニ従事ス

一 何年月ヨリ何年月マテ何地官公立何學校教員ニ従事ス辭令書寫左ノ如シ

(辭令書全文ヲ記載スヘシ)

一 何年月ヨリ何年月マテ何官職ニ從事ス辭令書寫左ノ如シ
(辭令書全文ヲ記載スヘシ)

一 何年月何所ニ於テ何々ノ事由ニ依リ賞(罰)ヲ受ク辭令書寫左ノ如シ
(辭令書全文ヲ記載スヘシ)
右之通相違無之候也

年月日 氏 名 印
体格検査書

何那何町村番地居住(寄留)
華士候平民 氏 名

右身不ヲ検査ヒシニ健全ノ者ニ有之候也

年月日 何那何町村 氏 名 印
醫師 氏 名 印

大品行證明書

何那何町村番地居住(寄留)

華士候平民 氏

年月生

右從來品行上不都合ノ廉無之依テ證明候也

年月日 何那何町村長 氏 名 印

第二條 甲種檢定ヲ請フ者ハ隨時出願シ乙種檢定ヲ請フ者ハ毎年四月中ニ出願スヘ

第二章 試験ノ時期及場所

第三條 乙種檢定試験ハ毎年夏季大分町ニ於テ之ヲ施行ス但大分町ヲ距ル十里以外
ノ地ニシテ准教員ノ檢定ヲ請フ者二十名以上ニ及フトキハ該試験ニ限り其地ニ試
験場ヲ設ケ之ヲ施行スルコトアルヘシ

第四條 試験ノ時日及試験場ハ施行前内務部第三課ヨリ之ヲ廣告スヘシ

第三章 試験科目ノ程度等
第五條 尋常小學校本科准教員檢定試験科目ノ程度左ノ如シ
修身 人倫道德ノ要旨
教育 教授法ノ概要
國語 國語 作文

算術・筆算 加減乗除 分數 小數 比例

珠算 加減乗除

地理 日本地理ノ大要

歴史 日本歴史ノ大要

習字 楷書 行書 草書

圖畫 自在圖

音樂 單音唱歌 風琴彈奏

体操 準備法 矯正術 徒手体操

裁縫 通常衣服ノ縫方裁方

第六條 高等小學校本科男准教員檢定試験科目ノ程度左ノ如シ

修身 人倫道德ノ要旨

教育 教授法 管理法ノ大要

國語 文法ノ大要 作文

漢文 讀講

數學 筆算 加減乗除 分數 小數 比例 百分算 開平 開立 求積

簿記 珠算 加減乗除

地理 日本地理 外國地理ノ大要

歴史 日本歴史ノ大要

博物 動物植物礦物及人身生理ノ大意

物理 大意

化學 大意

習字 楷書 行書 草書

圖畫 自在畫 用器畫(幾何畫)

音樂 單音唱歌 風琴彈奏

体操 普通体操 準備法 矯正術 徒手体操 懸鈴体操

兵式体操 生兵學大意

第七條 高等小學校本科女准教員檢定試験科目ノ程度左ノ如シ

倫理 人倫道德ノ要旨

教育 教授法 管理法ノ大要

國語 讀講 作文 文法ノ大要

數學 筆算 加減乗除 分數 小數 比例 百分算

珠算 加減乗除

地理 日本地理 外國地理ノ大要

歴史 日本歴史ノ大要

理科 博物及物理化學ノ大意

家事 裁縫及衣食住ニ關スル事項等(當分ノ內衣食住ニ關スル事項等ハ試験セズ)

習字 楷書 行書 草書

圖畫 自在圖 用器畫(幾何畫)

音樂 單音唱歌 風琴彈奏

體操 準備法 矯正體 徒手體操 陸鈴體操

第八條 高等小學校專科准教員檢定試驗科目ノ程度左ノ如シ

圖書 自在畫 用器畫

音樂 單音唱歌 複音唱歌 風琴彈奏

體操 普通體操 準備法 矯正體 徒手體操 陸鈴體操 球字體操

家事 裁縫及衣食住ニ關スル事項等

裁縫 通常衣服ノ裁方縫方

手工 木工具等ノ種類用法及作業

農業 土壤 水利 肥料 農具 耕耘 栽培 養蠶 養畜等ノ大意

商業 商店 會社 賣買 金融 運送 保險及商用簿記ノ大意

外國語讀方 譯解 習字 會話 文法 作文

第九條 尋常小學校本科正教員准教員檢定試驗科目中當分圖書音樂ヲ欠キ又女子ハ

體操ヲ欠ク但該科目ノ試驗ヲ請フ者アルトキハ併ヒテ之ヲ試驗スヘシ

高等小學校本科准教員檢定試驗科目中當分男子ハ音樂女子ハ體操ヲ欠ク但該科目

ノ試驗ヲ請フ者アルトキハ併ヒテ之ヲ試驗スヘシ

第四章 試驗成績調査法及免許狀書式

第十條 各科目ノ試驗點數ハ一百ヲ以テ定點トス各科目ノ得點數ノ和ヲ科目ノ數ヲ

以テ除シ得タルモノヲ平均得點トス

第十一條 本科教員ノ檢定ニ於テハ各科目ノ得點五十以上ニシテ平均得點六十以テ

ノモノヲ以テ合格トス

第十二條 准教員免許狀書式ヲ定ムルコト左ノ如シ

小學校教員免許狀

族籍

何科目 何科目

氏

名

年月生

右ハ前記ノ科目ニ就キ檢定シ大分縣管内ニ於テ明

治何年何月何日ヨリ明治何年何月何日迄七ヶ年

間尋常小學校本科(專科)准教員タルコトヲ免許ス

高等小學校本科(專科)准教員タルコトヲ免許ス

年月日

大分縣印

番號

第五章 手数料

第十三條 小學校教員檢定ヲ請フ者ハ手数料トシテ本科正教員ハ金壹圓專科正教員ハ金五十錢准教員ハ金二十錢ヲ納ムヘシ
 前項ノ手数料ハ檢定出願ノ際願書ト共ニ差出スヘシ其既ニ差出シタル手数料ハ願下ヲナシ若クハ試験ニ應セサルトキト雖返附セサルモノトス
 第十四條 小學校教員免許狀ヲ受クル者ハ手数料トシテ正教員ハ金五十錢准教員ハ金貳十錢ヲ即時納ムヘシ
 免許狀ヲ毀損シ若クハ亡失シタル等 爲是ニ其下附ヲ請フ者ハ前項ノ手数料ヲ納ムヘシ

第十五條 尋常師範學校卒業生ニ關シテハ第十三條及第十四條第一項ノ手数料ヲ徵收セス

第六章 受験者心得

第十六條 受験者ハ試験施行ノ前日指定ノ試験場ニ其止宿所ヲ届出ヘシ
 第十七條 受験者ハ試験施行ノ前日試験場ニ出頭シ試験科目ノ日割時間割等ヲ承知スヘシ
 第十八條 受験者ハ試験定時二十分前マテニ試験場ニ參集スヘシ
 第十九條 受験者ハ試験場ニ於テハ靜肅ヲ旨トシ舉措進退一ニ檢定委員ノ指揮ニ從フヘシ

第二十條 受験者ハ試験問題ノ意義ニ就キ質問スルコトヲ得ス
 第二十一條 受験者ハ檢定委員ヨリ指示スルモノ、外書類其他ノ物品ヲ試験室内ニ携帶スルコトヲ得ス

第二十二條 受験者ハ試験時間中檢定委員ノ許可ヲ受ケヌシテ其席ヲ離ル、コトヲ得ス
 第二十三條 受験者ハ試験時間中相互ノ間私語又ハ交通スルコトヲ得ス
 第二十四條 受験者ハ其試験ヲ受クルノ際不正ノ所爲アルトキハ直ニ試験ヲ中止シ退室ヲ命スヘシ

○文部省令第十號

明治十九年(五月)文部省令第十號尋常師範學校生徒募集規則ヲ改正スルコト左ノ如シ但明治二十六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
 明治二十五年七月十一日 文部大臣伯爵大木喬任

尋常師範學校生徒募集規則
 第一條 尋常師範學校生徒ノ募集ハ每學年ノ始ニ於テスヘシ
 第二條 尋常師範學校ノ生徒ハ左ノ資格ヲ有スルモノヨリ募集シ其身體品行學力等ヲ檢定シテ之ヲ選ブヘシ

一 身體健全品行方正ニテ小學校教員タルニ適當ナリト認ムルモノ
 二 尋常小學校ニ本科准教員タルハモ免許狀ヲ有シ若クハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者
 三 男子ハ年齡十七年以上二十一年未滿女子ハ年齡十五年以上二十年未滿ノ者但特別ノ事情アルトキハ二十年以上二十五年以下ノ者亦入學ロシムルコトヲ得
 第三條 尋常師範學校ノ各學級ニ缺員ナルハ前條第一款ノ資格ヲ有シ學力年齡該學級ニ相當スル者ヲ以テ補缺スルコトヲ得但第二學年程度以上ノ學級ニ補缺スル者ハ小學校教員免許狀ヲ有シテ教員ノ職ニ從事シタル經歷アル者ニ限ル
 第四條 尋常師範學校ノ生徒ハ左ノ二種ヨリ募集スヘシ但土地ノ情況ニ依リ第二種ノ生徒ヲ募集セザルコトヲ得
 第一種 郡長市長ノ薦舉ニ係ル者
 第二種 直ニ尋常師範學校ニ願出ツル者
 前項ノ郡長市長ノ職務ハ東京市京都市大坂市ニ於テハ區長之ヲ行ヒ郡長市長ヲ置カザル地方ニ於テハ島司區長又ハ之ニ準スヘキ者之ヲ行フヘシ
 第五條 入學ヲ許可ロシムルハ初メ試驗生ニシテ四箇月以内假ヲ入學セシメ其資性品行等ヲ審察シ適當ト認ムル者ニ限リ本入學ヲ許可スヘシ但尋常師範學校ノ豫備科卒業生ヲ入學ロシムル場合ニ於テハ本文ニ依ルノ限ニアラス

第六條 此規則ニ關スル細則ハ北海道廳長官府縣知事之ヲ定ムヘシ

○大分縣令甲第八十一號
 明治廿五年(七月)文部省令第十號第六條ニ基キ尋常師範學校生徒募集細則左ノ通相定ム

明治廿五年十二月廿九日 大分縣知事 岩崎小二郎

大分縣尋常師範學校生徒募集細則
 第一條 大分縣尋常師範學校生徒ノ募集ハ毎年一度トシ其期日及員數等ハ其都度前

以師範學校ヨリ廣告スヘシ
 第二條 募集生徒ノ身體品行學力ハ其第一種第二種ヲ問ハス左ノ方法ニ依リ之ヲ檢

定スルモモトス
 一 身體ニ檢定ハ適當ノ醫員ヲシテ之ヲ行ハシム
 二 品行ヲ檢定ハ第一種ハ郡長ノ薦舉書第二種ハ町村長ノ品行證明書ニ依リ尚其

經歷ニ就科之ヲ檢定スルモノトス
 三 學力ヲ檢定ハ左ノ學科及其程度ニ就キ之ヲ檢定ス

但音樂操ノ一科若クハ二科ハ之ヲ缺クコトアルヘシ
 修身 人倫道德 算術
 教育 教授法ノ概要

國語 讀讀作文
 算術 筆算 加減乘除 分數 小數 比例
 珠算 加減乘除
 地理 日本地理ノ大要
 歷史 日本歷史ノ大要
 習字 楷書 行書 草書
 圖畫 自在圖
 音樂 單音唱歌風琴彈奏
 體操 準備法 矯正術 徒手体操
 第三條 入學志願者ノ願書薦舉書品行證明書及履歷書ハ左式ニ依テ之ヲ出スヘシ
 書式

入學願書
 志願者 備小學校教員志願ニ付御校ニ入學ノ許可ヲ得度尤某ノ身上ニ關スル事
 件ハ保證人ニ對テ一切引受申スヘシ候間履歷書戶籍寫及何郡長薦舉書(品行證
 明書)相添此段相願候也

大分縣何郡何村何番地
 華士核平民

年月日 入學志願人 氏 名 印
 戶主(議長次男弟等)
 當何月幾年幾月

大分縣何郡何村何番地
 華士核平民
 保證人 氏 名 印

大分縣尋常師範學校校長氏名殿
 前書保證人ハ保證ノ責ニ任シ得ル者ト認ム
 年月日 何郡長 氏 名 印
 薦舉書

族籍 氏 名 印
 右ノ者當郡内小學校教員志願ニ付今般御校生徒ノ募集ニ應シ入學志願ノ旨申出
 候尤同人儀ハ別紙履歷書ノ通何年何月當郡何小學校卒業生ニシテ爾來何職ニ從
 事シ若クハ何郡何學校ニ於テ何學科ヲ修メ其資性品行ニ付テハ師範學校生徒
 ルニ適スル者ト認メ候ニ付薦舉候也
 年月日 何郡長 氏 名 印

大分縣尋常師範學校長氏名簿

履歷書

大分縣何那町何番地

華士族平民

戶主(雖長次男弟等)

氏

名印

何年何月生

學業

一何年何月ヨリ何年何月マテ何所誰ニ就キ或ハ何學校ニ於テ何學科修業若クハ卒業左ノ證書ヲ受領ス

卒業證書ノ寫

何々

職務

一何年何月ヨリ何年何月マテ何職又ハ何學校何科正准教員ヲ從事シ月給若干ハ手當若干ヲ受ク

賞罰

一何年何月何所ニ於テ何々ニ付何賞若クハ何罰ヲ受ク

年月日

品行證明書

族籍

氏

名

右從來品行上不都合ノ廉無之依テ證明候也

年月日

何那町長

氏

名印

第四條 前條ノ保書人ハ當縣下ニ於テ本籍ヲ定メタル戶主タルヘシ

保書人ノ住所尋常師範學校所在地ヨリ一里以外ニ在ルモノハ別ニ一里以内ニ居住スルモノヲ以テ保書人代理者トシ豫メ師範學校ヘ届置クヘシ保書人若クハ代理者死亡轉居又ハ改印改姓名等ナシタルトキハ其旨直ニ届出ヘシ尋常師範學校長ニ於テ保書人若クハ保書人代理者ヲ不充分ト認ムルトキハ之ヲ易ヘシムルコトアルヘシ

○明治十九年十二月大分縣令甲第十九號本縣尋常中學校學科及其程度實施方法中摘載

第七條 本校第一年級ニ入學シ得ヘキモノハ品行端正身體健康ニシテ年齡十二年以上ニ達シ高等小學校第二級卒業ノ學力ヲ有スルモノタルヘシ但ニ年級以上ニ入ルコトヲ得ヘキモノハ相當ノ年齡ニ達シ其課程ヲ修ムルノ學

カヲ有スルモノタルヘシ

第八條 入學試業ハ生徒入學ノ際之ヲ施行シ各學科目評點六十點以上ニシテ一學科目評點三十點以上ノモノヲ合格トス

但合格者募集定員ニ超過スルトキハ得點數多キモノヨリシテ同點數ナルトキハ志願ノ順序ニ從テ之ヲ採ル

第十五條 生徒募集ハ一學期ノ終トシ其員數及試業期日等ハ豫メ之ヲ廣告ス但缺員アルトキハ臨時ニ募集スルコトアルヘシ

第十六條 相當ノ學力アルモノ臨時ニ入學ヲ願出ルトキハ本校ノ都合ニヨリ學力等檢定ノ上特ニ之ヲ許スコトアルヘシ

第十七條 入學ヲ願フ者ハ履歷書及口籍寫相添へ入學願書ヲ本校へ差出スヘシ其書式左ノ如シ

入學願書

私儀今般御校へ入學志願ニ付御校則ハ勿論御達ノ旨堅ク可相守候間御試驗ノ上御許可被下度依テ別履歷書及口籍寫相添へ此般奉願候也

住所族籍〔戸主或ハ誰子弟〕

氏

年 名 印 齡

年 月 日

太分縣尋常中學校長何某殿

履歷書

住所族籍〔戸主或ハ誰子弟〕

氏

年 名 印 齡

一 學業

何年月何學校ニ於テ小學何等科卒業若クハ何小學科卒業若クハ何等科第何級卒業或ハ何年月ヨリ何年月マテ何年間何地何誰ニ就キ何科修業等

一 職業

父兄若クハ本人何業ヲ營ミ何職ニ従事スル等

一 賞罰

何年何月何所ニ於テ何事ニ付賞ヲ受ケ若クハ罰ヲ被ル等右之通相違無之候也

右

年 月 日

氏

名 印

口籍寫

第十八條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ保証人相立左式ノ入學証書ヲ差出スヘシ

入學證書

私儀令般入學御時可相成候ニ付テハ御校則ハ勿論御達示ノ旨堅ク相守リ他念ナク勸學可仕依テ誓約如此候也

住所族籍 {戸主或ハ誰子弟} 氏 名 印
年 齡

大分縣尋常中學校長何某殿

前書之趣相違無御座候且在學中本人身上ヨリ相起リ候事件ハ一切私共ニ於テ負擔可仕依テ誓書如此候也

住所族籍

保証人 氏 名 印

同

氏 名 印

第十九條 保証人ハ本縣下居住ノ戸主ニシテ丁年以上ノ男子二名ヲ要ス内一名ハ貳籍寄留ヲ贈セス大分町居住ノ者ニ限ルヘシ

但本校ノ生徒ハ保証人タルヲ得ス

第二十條 保証人不適當アリト認めルトキハ之ヲ換ヘシムルコトアルヘシ

○大分縣令第九號大分縣農學規則中摘載

第四章 入退學

第八條 生徒募集ハ必要アル場合ノ外毎年一回學年ノ終リニ於テス

但學科期日及人員等ハ豫メ之ヲ廣告ス

第九條 入學セントスルモノ、資格ハ左ノ各項ニ適合シ且入學試験ニ合格スルヲ要ス

一、本縣内住民ニシテ年齢十五年以上三十年以下ノ男子

但縣外ノ者ト雖都合ニ依リ入學ヲ許ストアルヘシ

二、入學中家事ニ係累ナキモノ

三、品行方正身体強壯ナルモノ

四、高等小學校四ケ年ノ課程ヲ卒業セシモノ及之ト等シキ學力ヲ有スルモノ

五、農學科生徒ハ自身又ハ父兄ニ於テ五反歩以上ノ田圃ヲ所有スルモノ

第十條 本校生徒ニシテ退學ヒシモノ更ニ入學ヲ請フトキハ事實取調ノ上入學ヲ許ストアルヘシ

第十一條 入學志願ノモノハ左ノ書式ニ依リ入學願書ニ履歷書及本人若クハ父兄所有ノ田圃反別調書ヲ添ヘ本校ニ差出スヘシ

入學願書式

入學願

何(府縣)何(郡市)何(町村)大字何々何番地居住
(寄留ナレハ其宿所ヲ記入スヘシ)

族籍戶主若クハ誰子弟

姓 名

生年月日

其儀御校(農學科獸醫學科水產學科)ニ入學志願ニ付御檢定ノ上御許可被成下度
此段相關候也

年月日 右 姓 名

大分縣農學校長何某殿

履歷書式

履歷書

姓 名

生年月日

學業

職業

賞罰

右之通相違無之候也

年月日 姓 名 印

第十二條 入學許可ヲ得タルモノハ左ノ書式ニ從ヒ入學証書ヲ差出スヘシ
書式

入學証書

今般某儀入學被差許候ニ付テハ在學中諸規則固ク相守リ學業勉勵仕リ猥リニ退
學致間敷候又在學中私身上ニ關スル事件ハ總テ保証人ニ於テ引受可申儀テ保証
人連署ヲ以テ將書差出候也

何(府縣)何(郡市)何(町村)大字何々番地居住
(寄留ナレハ其宿所ヲ記入スヘシ)

族籍戶主若クハ誰子弟

姓 名 印

郡(町村)大字何々番地族籍職業

保証人 姓 名 印

大分縣農學校長何某殿

第十四條 保証人ハ本校ヲ距ル一里以内ノ地ニ居住シ若クハ寄留スルモノニシテ相當ノ財産アル丁年以上ノ男戶主ニ限ル

但本校長ニ於テ不十分ト認ハルトキハ之ヲ換ヘシムルコトアルヘシ

第十四條 保証人旅行等ノ節ハ相當代人ヲ立テ双方邊署ノ上届出ツヘシ

第十五條 保証人死後若クハ視學外ノ地ニ轉居スルトキハ更ニ撰定シ第十三條ノ手續ヲナスヘシ

續ヲナスヘシ

○明治廿六年四月大分縣令第十四號本縣尋常師範學校講習科規程中摘載

第十一條 講習科ニ入學セント欲スル者ハ願書ニ履歷書戶籍寫ヲ添ヘ郡役所ヲ經テ願出ツヘシ其願書及履歷書式左ノ如シ

書 式

入 學 願

某儀御校講習科ニ入學志願ニ付入學ノ許可ヲ得度尤某ノ身上ニ關スル事件ハ保証人ニ於テ一切引受ケ申スヘク候依リテ別紙ニ履歷書戶籍寫相添此段相願候也

大分縣何郡何村何番地

華士族平民主(離男兄弟等)

年月日

入學志願者 氏 名 印

生 年 月

大分縣何郡何村何番地

華士族平民

保 證 人 氏 名 印

大分縣尋常師範學校長氏名殿

履 歷 書

大分縣何郡何村何番地

華士族平民

氏 名 印

生 年 月

學 業

一何年何月マテ何所誰ニ就キ或ハ何學校ニ於テ何學科修業若クハ卒業シ左ノ証書ヲ受領ス

本業証書以寫

何

職 務

一何年何月ニ於テ何年何月ニテ何職又ハ何學校何科正准教員ニ從事シ月俸若干ハ手
當若干ヲ受ク

一何年何月何所ニ於テ何ニ付何賞若クハ何罰ヲ受ク

第十二條 前條ノ保證人ハ當縣下ニ本籍ヲ定メタル戶主タルヘシ

保證人ノ住所尋常師範學校所在地ヨリ一里以外ニ在ル者ハ別ニ三里以内ニ居住ス
ル者ヲ以テ保證人代理者トナシ豫メ師範學校ニ届置クヘシ但保證人若クハ保證代
理者死亡轉居又ハ改印改氏名等ナシタルト雖モ其旨信ニ届出ツヘシ
尋常師範學校長ニ於テ保證人若クハ保證代理者ノ住所宛分寄認認ルトキハ之ヲ易ハ
シムルコトヲ得ル

大分縣尋常師範學校規程

大分縣尋常師範學校

大分縣尋常師範學校

大分縣尋常師範學校

大分縣尋常師範學校

大分縣尋常師範學校

明治廿七年六月廿一日印刷
明治廿七年六月廿七日發行

定價拾五錢

大分縣大分郡大分町七十九番地士族

編輯者 岩 瀬 乙 彦

全縣全郡全町百十五番地寄留士族

同 河 津 七 郎

全縣全郡四大分町百十一番地寄留士族

發行兼 田 中 武 一

印刷者

全縣大分町九百二十五番地

印刷所

八風堂印刷所

6
9

22

049479-000-9

特26-189

受験者必携試験問題彙纂

河津 七郎

岩瀬 乙彦 / 編

M27

BEM-0105



1

164
608
278

1